

Windows 98SE/Me/2000/XP 対応 株価分析ソフト

TELECHART 

テレチャート・W

Ver.

4

入門編

ユーザーズマニュアル

SYSTEC

ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、株式会社システックにあります。
 - 本ソフトウェアは日本国外では使用できません。
This TELECHART-W Ver.4 is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
 - 本ソフトウェアの複製はユーザー様が製品を使用するためにハードディスクへインストールする場合と保存(バックアップ)を行う場合に限りです。
 - 本ソフトウェア、マニュアルの仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
 - 本ソフトウェアをご利用された結果から引き起こされる事態につきましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 製品につきましては万全を期しておりますが、ご不審な点、お気づきの点、誤り等ございましたら、弊社ユーザーサポート係までご連絡いただきますようお願いいたします。
- 製品の取り扱いにつきましては、本マニュアルの内容を厳守していただきますようお願いいたします。

Windowsは米国マイクロソフトの商標商標です。

記載の会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。



テレチャート・W Ver. 4 ユーザーズマニュアル 【入門編】

はじめに

この度はテレチャート・W Ver. 4をお求めいただきまして誠にありがとうございます。

本マニュアルでは、初めてテレチャート・W Ver. 4をお使いになる方や、パソコンの操作にまだ慣れていない方、もしくはできるだけ効率よく使いたいという方のために、基本的な機能と操作方法について説明しています。

尚、当社は本マニュアル掲載内容の如何に関わらず、ユーザー様の株式投資に関する一切の責任を負いません。予めご了承ください。

このマニュアルに進む前にテレチャート・W Ver. 4のインストール（「テレチャート・W Ver. 4 ユーザーズマニュアル・【インストール編】」参照）が正常に完了しているかどうかご確認ください。

もくじ

概要

1. テレチャート・Wってなに？	8
1. テレチャート・Wの基本用語	8

最初にすること

1. はじめての起動	11
1. 起動する前に	11
2. テレチャート・Wの起動	12
2. 初期データのインストール	13
1. 初期データを手に入れるには	13
2. バックアップしたデータを使うには	14
3. 日々データと銘柄別データの統合	17

毎日すること

1. テレチャート・Wの起動と終了	20
1. テレチャート・Wの起動	20
2. テレチャート・Wの終了	21
2. 今日の株価を記録しよう	22
1. 今日の株価を記録する(データ取込)	22
3. 登録銘柄のメンテナンスをしよう	24
1. 銘柄メンテナンスの起動	24
2. 新規上場銘柄を追加する	25
3. 銘柄名変更銘柄の処理	26
4. 上場市場変更銘柄の処理	27
5. 上場廃止銘柄を削除する	29

定期的にすること

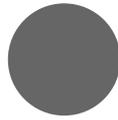
1. データのバックアップをしよう	32
1. テレチャート・Wが管理しているデータ	32
2. バックアップの準備	33
3. バックアップをしよう	34
2. いらぬファイルを削除しよう	42
1. いらなくなった日々データを削除しよう	42
2. いらなくなった週残データを削除しよう	44

使ってみよう

1. テレチャート・Wの画面	47
1. テレチャート・Wの画面機能	48
2. 各画面のボタン一覧	48
2. 株価ボードを使ってみよう	53
1. 株価ボードを表示しよう	53
2. 株価ボードの見かた	54
3. 目的の銘柄を探し出そう	58
1. コード番号呼出を使ってみよう	58
2. 読みがな呼出を使ってみよう	61
4. 注目銘柄だけを表示しよう	64
1. 銘柄グループを作成しよう	64
2. 銘柄グループを表示しよう	69
5. 株価チャートを表示しよう	71
1. 株価チャートを表示しよう	71
2. 「足」を切り換えよう	72
3. 株価チャート画面のサイズ変更	73
4. チャート幅を拡大しよう	73
5. 表示する指標を追加しよう	74
6. 指標グラフを大きく表示させる	75
7. カーソルを表示させる	77
8. 表示する銘柄を切り換える	78
9. 株価チャートを閉じる	79

6. ザラバチャートを表示しよう	80
1. ザラバチャートの見かた	80
2. ザラバチャートのサイズ変更	82
3. 目盛り比率の変更	82
4. チャート幅の変更	83
5. ザラバチャートを閉じる	84
7. 投資銘柄を絞り込もう	85
1. 分析データ画面に切り換えよう	86
2. 分析クエリーを読み込む	87
3. 分析クエリーを実行しよう	90
4. 分析クエリーを作ってみよう	92
5. 分析クエリーを保存する	98
6. 分析クエリーの設定を変更しよう	99
7. 計算条件の変更	102
8. 検索条件の変更	104
9. ハイ＆ローの設定変更	108
10. ランキング条件の変更	113
11. リストに表示する指標を選択・並び替える	115
12. コメントを編集する	121
8. 持ち株を管理しよう	122
1. 資産管理画面に切り換えよう	122
2. 税率を設定しよう	124
3. 新しい手数料フォームを作成しよう	125
4. 売買データを作成しよう	131
5. 現物買いを記帳しよう	132
6. 現物株を決済しよう	138
7. 売買データを保存しよう	143

概要



1. テレチャート・Wってなに？

概要

テレチャート・Wってなに？

金融ビッグバン時代の株式投資は個人投資家も自己の責任において売買の判断を行っていかねば大きな成功は得られません。そのためには情報武装し、自分の情報収集力・分析力・判断力を高めることが欠かせません。テレチャート・Wには日々変わりゆく株価情報を蓄積し豊富なチャートを用いた株価分析機能のほか、日中の値動きを確認できる株価ボード、売買の記録を行う株式資産管理機能など多彩な機能でお客様の株式投資を強力サポートいたします。

1 テレチャート・Wの基本用語

テレチャート・Wをご利用いただく上で、頻繁に用いられる主な用語です。

【データ受信】

インターネットから株価データ、信用残データ、為替情報などのデータを受信することをデータ受信といいます。

【データ取込】

データ受信に対して、株価チャートに反映させるために株価情報、信用残情報を受信し、ファイルとして記録することをデータ取込といいます。

【日々データ】

日々データとはインターネットから取り込んだ1日分の株価データファイルです。コード番号、市場、銘柄名、4本値(始値・高値・安値・終値)と出来高が記録されます。日々データは1日ごとに1ファイル作成されます。

(例: ファイル名/Ds200512.01)

【銘柄別データ】

銘柄別データとは日々データをもとに作成される銘柄ごとのデータファイルです。各銘柄ごとに日足のデータ(始値・高値・安値・終値・出来高)が記録され、このデータから週足データ、月足データが作成されます。

【銘柄辞書】

銘柄辞書とは、各銘柄ごとに市場、コード番号、銘柄名、さらにデータ受信の際の単位設定情報などが記録されている情報ファイルです。受信した銘柄情報と登録されている銘柄情報を照合するための重要なファイルです。

【エラー銘柄】

データ取込を行った際、銘柄辞書に登録されているのに受信できなかった銘柄がこれに当たります。

【銘柄メンテナンス】

エラー銘柄が発生した場合や新規上場銘柄があった場合、銘柄辞書の登録内容を修正する必要があります。この銘柄辞書の更新作業を銘柄メンテナンスといいます。

【確定データ】

テレチャート・Wでは、その日の取引が終了し、出来高などの集計が終了したデータを「確定データ」と呼びます。

この確定データを毎日取り込み、分析を行うことで投資活動の効率を高めることが可能となります。

注意! インターネットのブロードバンド接続環境が必要です。

テレチャート・Wをご利用いただくためには、パソコンがインターネットに常時接続されている環境が必要です。

最初にすること



1. はじめて起動したときに
2. 初期データのインストール

テレチャート・Wのインストールが完了したら、後からあわてないためにも起動する前に次のことを確認しましょう。

1 起動する前に

テレチャート・Wをはじめて起動する前に次のことを確認してください。

■ インターネットに接続できますか？

テレチャート・Wはインターネットからデータを受信します。ADSLや光、ケーブルテレビ回線などによりパソコンがインターネットに常時接続されていないと、正常にデータを取得することができません。

■ テレチャート・Wのインストールは完了していますか？

インストールとはパソコンのハードディスクにテレチャート・Wのプログラムをコピーすることを言います。テレチャート・W本体、日々データメーカー、銘柄別データメーカーの三つのソフトウェアをインストールしてください。(テレチャート・W Ver. 4ユーザーズマニュアル【インストール編】および日々データメーカーユーザーズマニュアル、銘柄別データメーカーユーザーズマニュアル参照)。

■ コンピュータの設定時間は正しい時間ですか？

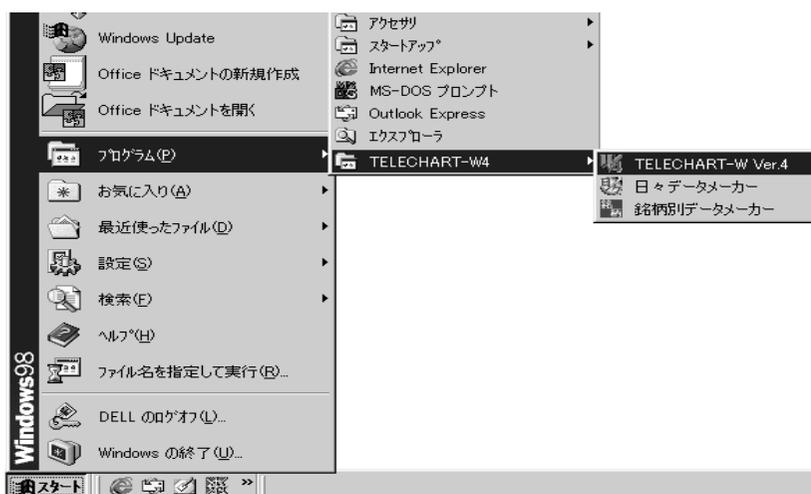
特にご注意いただきたいのが年月日の設定です。正しく日付および時間が設定されていないと、正確にデータを取得できません。

尚、日付・時間の設定はWindowsでの操作になります。詳しくはWindows添付のマニュアル等を参照してください。

2 テレチャート・Wの起動

1. パソコンの電源を入れてください。

2. Windowsが起動されたら、画面下の「スタート」メニュー→「プログラム」→「TELECHART-W4」→「TELECHART-W Ver. 4」の順にクリックします。
※テレチャート・Wの起動は『入門編 毎日すること「1. テレチャート・Wの起動と終了」』を参照してください。



3. TELECHART-W Ver. 4が起動します。



最初に すること-2

初期データのインストール

テレチャート・Wをインストールしただけでは株価チャートの表示も株価分析もできません。過去の株価データ（初期データ）を入手する必要があります。初期データとは過去日足190日、週足190週、月足約10年分の期間が収録された「銘柄別データ」ファイルです。

1 初期データを手に入れるには

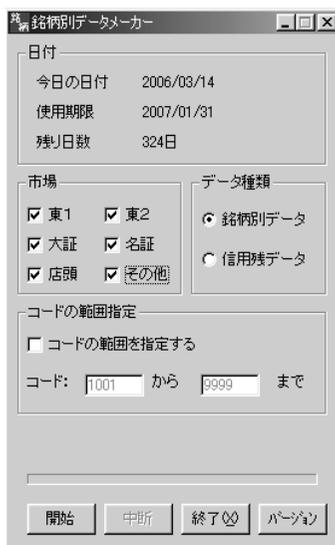
1. テレチャート・Wを起動させます。

2. 銘柄別データメーカーを起動する。



受信メニューをクリックして、プルダウンメニューの中から銘柄別データメーカー起動を選択し、クリックします。

3. 初期データをインストールしよう。



銘柄別データメーカーが起動したら必要項目に や、 を付けて ボタンをクリックします。

データの作成に要する時間はインターネットの混み具合とパソコンの処理速度により大きく変わります。

約3700銘柄の銘柄別データの作成に要する時間は10時間から20時間です。

約3700銘柄の信用残データの作成に要する時間は3時間から6時間です。

(詳しくは銘柄別データメーカーユーザーズマニュアルを参照してください。)

2 バックアップしたデータを使うには

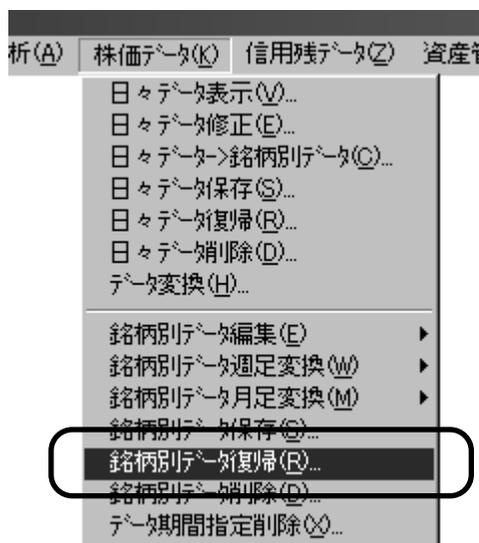
バックアップデータの入ったCD-R等をお手元にご用意ください。

1. テレチャート・Wを起動させます。

2. バックアップしたデータCD等をドライブに挿入してください。

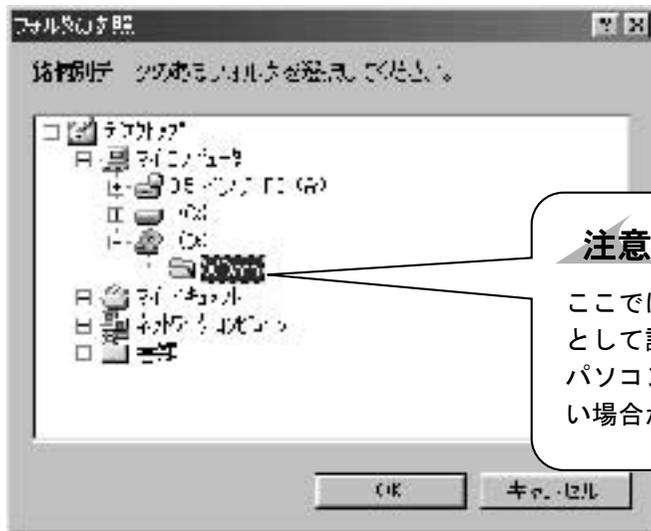
テレチャート・Wの「銘柄別データ保存」メニュー（定期的にする こと 3）バックアップをしようを参照）によりバックアップしたデータCDです。

3. 「株価データ」メニューの「銘柄別データ復帰」をクリックします。



4.

「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
CD-ROMドライブ左側[+]マークをクリックすると「WData」フォルダが表示されます。



注意!

ここではCD-ROMドライブはDドライブとして説明されていますが、お使いのパソコンによってはDドライブではない場合があります。

5.

「WData」フォルダをクリックし[OK]ボタンをクリックします。

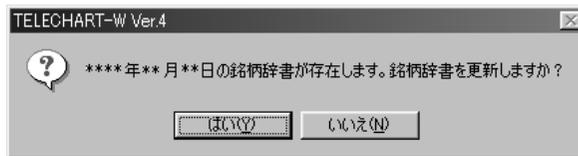
6.

データ復歸の確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。CDから初期データの読み込みが開始されます。



7.

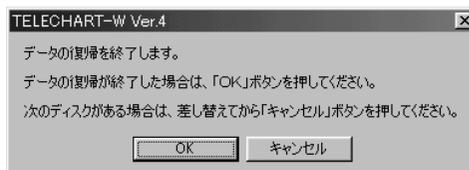
「****年**月**日の銘柄辞書が存在します。銘柄辞書を更新しますか？」のメッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックすると銘柄辞書を更新し銘柄別データの読み込みが改めて開始されます。



進行中・・・

8.

読み込みが終了すると「データの復帰を終了します。データの復帰が終了した場合は、[OK] ボタンを押してください。次のディスクがある場合は、差し替えてから [キャンセル] ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。

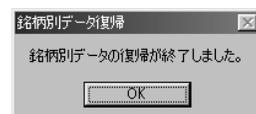


9.

銘柄辞書が更新された確認のメッセージにつづき、「銘柄別データの復帰」が完了したことを確認するメッセージが表示されます。

それぞれ [OK] ボタンをクリックし終了します。

※再起動後、株価チャートが復帰されていることを確認してください。

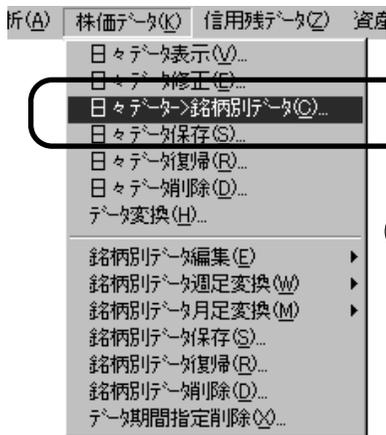


3 日々データと銘柄別データの統合

何かの都合でパソコンを初期化するなどした場合、定期的に株価データのバックアップを行っている【2】で復帰した銘柄別データと日々データを結合することで、短時間で復旧することができます。

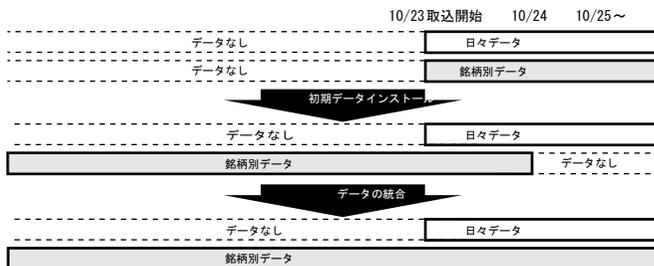
日々データとはテレチャート・Wにより毎日のデータ取り込み時に作成され、全銘柄の1日分の日足データが記録されているファイルです。
日々データメーカーを起動して作成することもできます。

1. 「株価データ」メニュー→「日々データ→銘柄別データ」の順にクリックします。



参考

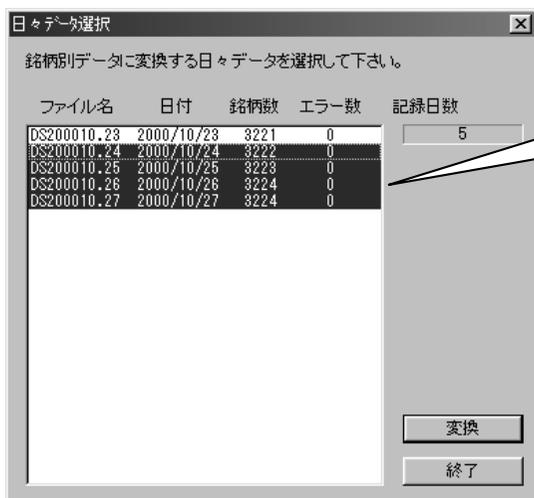
バックアップデータを復帰すると銘柄別データの最後の日が古くなってしまふ可能性があります。
例えば10/23からデータ取込を開始した場合、日足最終日10/24の初期データを復帰すると、10/25以降の銘柄別データは消えてしまいます。



10/25以降の日々データを銘柄別データへ再変換することで、初期データとのデータの統合がされ、空きがなくなります。

2.

「日々データ選択」ダイアログが表示されます。
インストールした株価データの日付よりも新しいデータをマウスでクリックして選択します。



参考

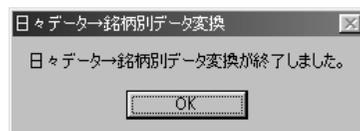
同時に複数の日付を選択するには、キーボードの「Ctrl」キーを押しながらクリックします。
選択を解除するには、もう一度クリックします。

3.

[変換] ボタンをクリックします。日々データから銘柄別データへの変換が実行されます。
変換したデータの日付が週や月をまたがっていた場合は、自動的に「週足」「月足」データを作成します。

4.

変換完了のメッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



毎日すること



1. テレチャート・Wの起動と終了
2. 今日の株価を記録しよう
3. 銘柄の登録情報をメンテナンスしよう

毎日 すること-1

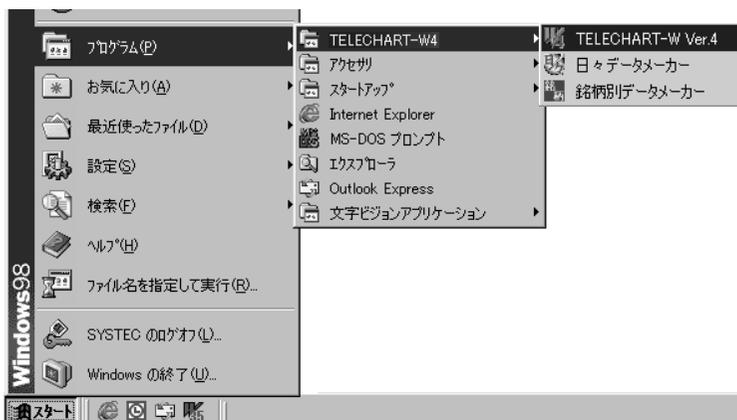
テレチャート・Wの起動と終了

テレチャート・Wは商いのある日は毎日データを取り込む必要があります。
そのためテレチャート・Wの起動および終了は毎日行うことになります。

1 テレチャート・Wの起動

1. パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。

2. タスクバーの「スタート」メニュー→「プログラム」→「TELECHART-W4」
→「TELECHART-W Ver. 4」の順にクリックします。



3. オープニング画面に続いてテレチャート・Wが起動します。



2 テレチャート・Wの終了

1. 「グループ」メニュー→「TELECHART-Wの終了」の順にクリックします。
または、ウィンドウ右上隅の [×] ボタンをクリックします。



2. テレチャート・Wが終了します。
同時にデータ取得アプリケーション (WebFetcher) も終了します。

テレチャート・Wは銘柄ごとに日足・週足・月足のデータを蓄積して株価チャートの表示や分析値の計算などに利用します。そのため商い日には毎日データを取り込む必要があります。もしもデータの取り忘れがあるとチャートが途切れて表示されたり、投資銘柄を正しく判断できなかつたりします。機能を最大限に活用するためにも、必ず毎日データ取込を行いましょ。 (当日、データ取込みができなかった場合は後日、日々データメーカーを起動してデータを取得してください。)

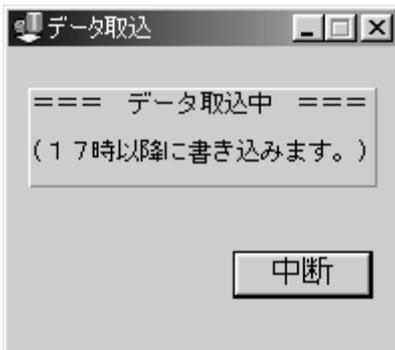
1 今日の株価を記録する (データ取込)

1. テレチャート・Wを起動します。
※テレチャート・Wの起動は『入門編 毎日すること「1. テレチャート・Wの起動と終了」』を参照してください。

2. [データ取込] ボタンをクリックしてください。
※「受信」メニュー→「株価データ」→「銘柄別データの追加」の順にクリックしてもOK。



3. 「データ取込」ウィンドウが表示されます。



4.

データ取込が終了すると「日々データ作成」に続いて「銘柄別データへの追加」が自動的に実行されます。



注意!

銘柄メンテナンスをしましょう。

テレチャート・Wの全銘柄を管理している銘柄辞書ファイルに記録された情報が受信できなかった場合にエラー銘柄として記録されます。

この場合、銘柄辞書の内容を新しい情報に更新する必要があります。これを銘柄メンテナンスと呼びます。

※銘柄メンテナンスは『入門編 毎日すること「3. 登録銘柄のメンテナンスをしよう」』を参照してください。

5.

一連の自動処理が終了したらデータ取込は終了です。

毎日 すること-3

登録銘柄のメンテナンスをしよう

株価データを取り込むときテレチャート・Wの管理する銘柄辞書と銘柄名を照らし合わせてデータを取り込んでいきます。新規上場銘柄や銘柄の名称変更、上場市場の変更、上場廃止などの銘柄があると、銘柄辞書の内容と異なって管理がしづらくなったり、データを正常に取り込むことができない場合があります。このような場合、銘柄辞書の内容を正しい情報に更新する必要があります。この作業を「銘柄メンテナンス」といいます。

1 銘柄メンテナンスの起動

1.

[銘柄メンテナンス] ボタンをクリックします。

※「受信」メニュー→「銘柄メンテナンス」の順にクリックしてもOK。



2.

「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されます。

「エラー表示」ボタンをクリックすると「エラー銘柄一覧」ダイアログが表示されます。



参考

新規上場銘柄の登録を行う場合は「追加」ボタンをクリックします

2 新規上場銘柄を追加する

新規に上場（登録）された銘柄がある場合、銘柄辞書に銘柄情報を登録することが必要となります。弊社ホームページなどから必要情報を入手してください。

1. 銘柄メンテナンスが起動し、「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されたら「追加」ボタンをクリックします。

2. 「銘柄追加」ダイアログが表示されます。

3. 銘柄コード、銘柄名、読みがなと URL（ホームページアドレス）を入力します。



銘柄の情報

読みがなおよび URL は後からでも追加入力できるので、不明な場合はそのまま空白のままでも構いません。ただし、読みがなが空白の場合は読みがなでの銘柄呼び出しができません。また、URL が空白の場合はその銘柄へのホームページリンク機能をご利用いただけません。

4. 額面を確認してください。額面 5 万円以上の銘柄を高株価銘柄と呼んでいます。高株価銘柄の場合は、出来高単位を「1」株価単位を「100」に設定してください。

※通常は出来高単位「1000」、株価単位「1」の設定になっています。

5. [OK] ボタンをクリックします。以上で銘柄辞書に新規登録されました。

3 銘柄名変更銘柄の処理方法

上場している銘柄の社名が変更された場合、銘柄の情報が銘柄辞書に登録してある銘柄名と一致しないために管理がしにくくなります。

1. 銘柄メンテナンスが起動し、「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されたら修正したい銘柄を選択してから「修正」ボタンをクリックします。

2. 「銘柄修正」ダイアログが表示されます。

3. 変更したい項目に必要な情報を入力します。

コード(C)	1721	出来高単位(D)	1000
市場(M)	東1	株価単位(U)	1
銘柄名(N)	コムシスHD		
読みがな(R)	コムシスホールディングス		
URL(H)	http://www.comsys.co.jp/		

参考

銘柄の情報

読みがなおよびURLは後からでも追加入力できるので、不明な場合はそのまま空白のままでも構いません。ただし、読みがなが空白の場合は読みがなでの銘柄呼び出しができません。また、URLが空白の場合はその銘柄へのホームページリンク機能をご利用いただけません。

4. その他登録内容の変更がなければ[OK]ボタンをクリックしてください。
以上で銘柄辞書が更新されました。

4

上場市場変更銘柄の処理方法

上場している市場が変わった場合、現在銘柄辞書に登録してある市場にデータが存在しないためにエラー銘柄になります。株価ボードに空欄がある場合にはその可能性があります。

株価ボードの受信状況表示欄で未受信の銘柄があるかどうかを確認します。

1.

銘柄メンテナンスを起動し、「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されたら「エラー表示」ボタンをクリックします。

受信状況
 ・登録 3766
 ・進行 0
 ・受信 3764
 ・未受 2
 ・アラート 0

数字が表示されている場合は株価データの受信が出来ない銘柄が存在することを示しています。

「エラー銘柄一覧」ダイアログが表示されましたら、そこに表示される銘柄情報をインターネットなどで確認し、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

(銘柄情報は弊社のホームページにも掲載しています。)

2.

エラー銘柄一覧

コード	市場	銘柄名
6148	店頭	UHT
9965	店頭	福原

日付 2006/3/16

エラー銘柄数 2

印刷(P)
 削除(D)
 エラー履歴(E)
 OK

「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されていますので「修正」ボタンをクリックします。

「銘柄修正」ダイアログが表示されますので、変更になった市場を選択してください。

銘柄修正

コード(C)	1721	出来高単位(D)	1000
市場(M)	東1	株価単位(U)	1
銘柄名(N)	コムシステムD		
読みがな(R)	コムシステムディングス		

URL(H) <http://www.comsys.co.jp/>

OK キャンセル

(店頭 = JASDAQ 市場を示します。)

4. 登録内容の変更がなければ [OK] ボタンをクリックします。
以上で銘柄辞書が更新されました。

5 上場廃止銘柄を削除する

コード番号付きのエラー銘柄は銘柄辞書に登録された市場に存在しないため、株価データが受信できなくなった銘柄です。前述の上場市場の変更のほかにも上場廃止があります。

株価ボードの受信状況表示欄で未受信の銘柄があるかどうかを確認します。

1. 銘柄メンテナンスを起動します。

受信状況	
・登録	3766
・進行	0
・受信	3764
・未受	2
・アラム	0

数字が表示されている場合は株価データの受信が出来ない銘柄が存在することを示しています。

「銘柄辞書一覧」ダイアログが表示されたら「エラー表示」ボタンをクリックします。銘柄の情報を調べて、削除しても良い銘柄かどうかを判断します。

(銘柄情報は弊社のホームページにも掲載しています。)

- 2.

エラー銘柄一覧

エラー銘柄一覧				日付
コード	市場	銘柄名		2006/3/16
6148	店頭	UHT		エラー銘柄数 2
9965	店頭	福原		

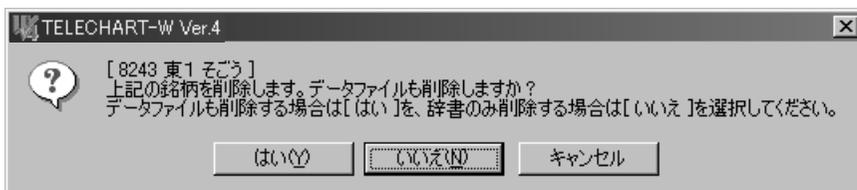
印刷(P)
削除(D)
エラー履歴(E)
OK

3.

「エラー銘柄一覧」ダイアログからメンテナンスする銘柄を選択して [更新] ボタン (ダブルクリック、または [削除] ボタンでも OK) をクリックします。

4.

エラー銘柄の削除を確認するメッセージが表示されます。表示内容を確認してください。
データも同時に削除する場合は [はい] を、辞書の登録のみ削除する場合は [いいえ] を、削除の処理を中止する場合は [キャンセル] をクリックします。



5.

以上で銘柄辞書から削除されました。

参考

銘柄辞書の登録のみ削除の場合

テレチャート・Wの銘柄辞書から登録は削除になりますが、今までのデータは残りますので、後日この銘柄のデータが必要になった場合、再度チャートなどに利用することができます。

定期的にすること



1. データのバックアップをしよう
2. いらないファイルを削除しよう

定期的に すること - 1

データのバックアップをしよう

テレチャート・Wで蓄積する株価データはすべてパソコン内に記録されますが、パソコンの故障や操作間違いでこれらのデータが失われることが多々あります。データを喪失しますと、チャートの表示や分析に支障をきたし、正常なデータを表示することができなくなります。

このような不意のデータ喪失に対処するため、定期的にデータのバックアップをとることをおすすめします。

1 テレチャート・Wが管理しているデータ

●株価データ

銘柄辞書	銘柄の情報を記録・管理しているシステムファイル。
銘柄別データ	テレチャート・Wでもっとも基本となる株価データで株価チャート、分析などに利用します。 銘柄別データは銘柄ごとに1ファイルずつ作成され、日足・週足・月足が記録されます。 1銘柄(ファイル)16KBですので、3000銘柄で50MB程度になります。
日々データ	毎日のデータ取り込み時に作成され、全銘柄の1日分の日足データが記録されているファイルです。 このファイルは、銘柄別データを作成・更新するために用いられます。 銘柄別データへ追加後は、必要なくなりますので削除することができます。

●東証信用取引週末残高(信用残)データ

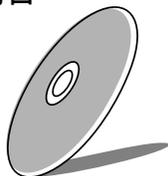
信用残データ	チャートに表示する東証信用取引週末残高(売り残・買い残)を記録します。配信のある銘柄毎に作成されます。 信用残データは、1銘柄(ファイル)3KBです
週残データ	信用残データを更新するために作成される一時的なファイルで、1週間分の全銘柄の信用残週末取引残高(売り残・買い残)を記録します。 信用残データへ追加後は、必要なくなりますので削除することができます。

2 バックアップの準備

バックアップは必ずパソコンのハードディスク以外の場所に行ってください。パソコンが故障してしまった場合、ハードディスクに保存されているデータはすべて喪失してしまうためバックアップをとった意味がなくなってしまいます！！

フロッピーディスクにバックアップをとることも可能ですが、データが大きいため、一般的には大容量メディア（CD-R、MOディスクなど）を利用することをおすすめします。

CD-Rを利用する場合



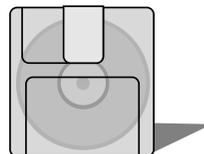
CD-Rに書き込む場合は一般にCD-R書き込みソフトが必要ですので、テレチャート・Wでは直接バックアップ先として指定できません。

そのため、予めハードディスクの任意の場所に空のフォルダを作成し、先にそのフォルダをデータの保存先に指定します。それから、そのフォルダをCD-R書き込みソフトを使ってCD-Rにコピーします。

また、データフォルダをそのままCD-Rにコピーした場合、そのデータは使用できなくなりますのでご注意ください。

このような現象を回避するためにも、本マニュアルの操作方法に従ってバックアップを行ってください。

CD-R以外の大容量メディア（MOディスクなど）を利用する場合



大容量メディア（MOディスク等）をご利用の場合は、保存先に空のフォルダを予め作成し、そこに保存するようにしてください。

直接保存しますとWindowsのシステム上空き容量があってもファイルがコピーできなくなります。これはルートフォルダ（階層の最上位）に作成できるファイル数に制限があるために起こります。

参考

銘柄別データのバックアップ

株価データは毎日更新されますので、毎日銘柄別データをバックアップすることが理想ですが、毎日の作業とするのは時間がかかり過ぎます。

従って、「銘柄別データ」保存を月に1度程度行い、翌月の「銘柄別データ」保存までの一ヶ月間は「日々データ保存」を実行し、毎日の株価データを残しておけば、いつパソコンが壊れてしまってもデータを元に戻すことができます。

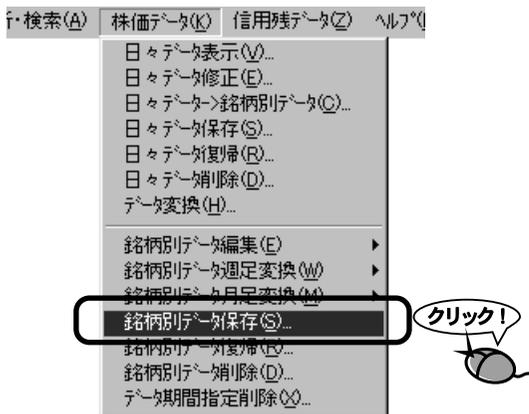
3 バックアップをしよう

● 銘柄別データのバックアップ

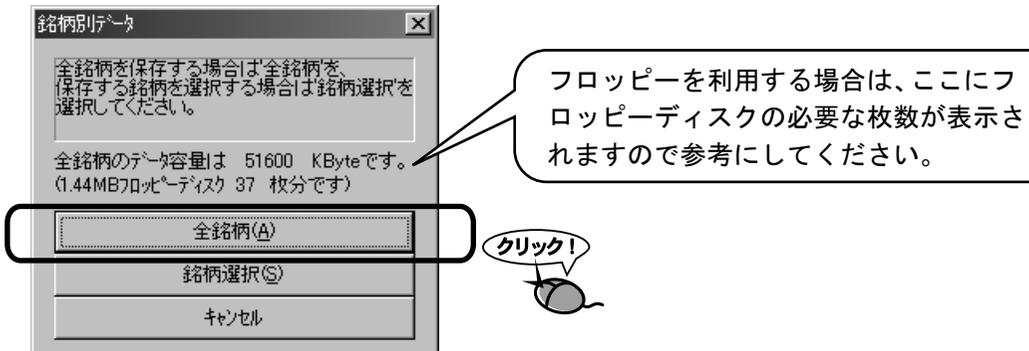
利用する保存メディアごとにバックアップの準備として以下のことを行ってください。

- MOの場合 MO内に空の保存フォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- CD-Rの場合 ハードディスク上の任意の場所に空のフォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- FDの場合 2.で表示される枚数分のフォーマット済みのフロッピーディスクを用意する。

1. 「株価データ」メニュー→「銘柄別データ保存」の順にクリックします。

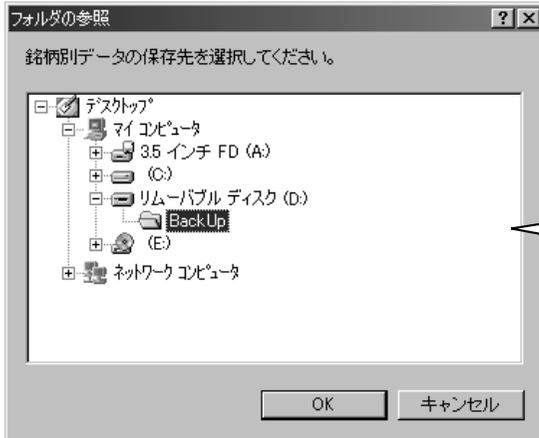


2. 「銘柄別データ」ダイアログが表示されますので[全銘柄] ボタンをクリックします。



3.

「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
保存先のフォルダを指定して[OK]ボタンをクリックします。



注意!

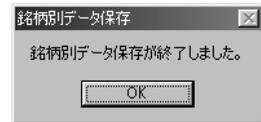
左図はMOを利用した例です。
CD-Rの場合はハードディスク上の
任意の場所に用意したフォル
ダを、フロッピーディスクの場
合は3.5インチFDをそれぞれ選
択します。

4.

選択されたフォルダに銘柄別データ・銘柄辞書がコピーされます。

5.

「銘柄別データの保存が終了しました。」
のメッセージが表示されたら終了です。
[OK]ボタンをクリックします。



6.

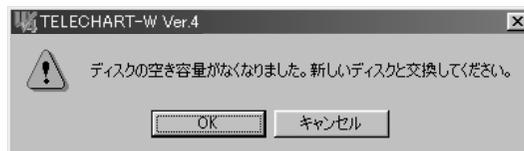
CD-Rの場合は、上記の手順によりハードディスク上に作成されたバックアップフォルダをさらにCD-R (CD-Rへの書き込み方法はお手持ちのCD-R書き込みソフトに添付のマニュアルを参照してください。)に書き込みます。

注意! 保存が終了しない!?

コピー中に「ディスクの空き容量がなくなりました。新しいディスクと交換してください。」というメッセージが表示されましたら、別のメディアに交換してください。

空き容量が十分あるにもかかわらずこのメッセージが表示された場合は、メディアのルート(階層の最上級)を保存先として指定しています。(例えば、3.の図でいうと「BackUp」ファイルでなく、リムーバブルディスクを選択した場合など)

その場合、空き容量が十分にあってWindowsのシステム上書き込めるファイル数に制限があるため、これ以上書き込むことができません。メディア内のファイルをすべて削除後、空のフォルダを作成し、フォルダ内にファイルを保存するようにしてください。

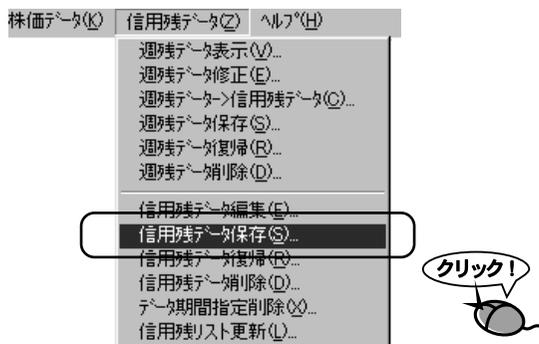


●信用残データのバックアップ

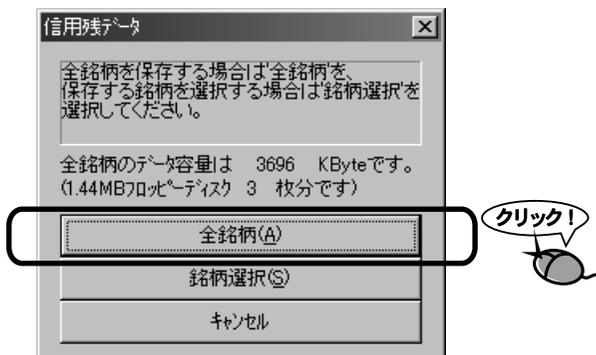
信用残データとは毎週の売り残、買い残が記録されているデータです。
利用する保存メディアごとにバックアップの準備として以下のことを行ってください。

- MOの場合 MO内に空の保存フォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- CD-Rの場合 ハードディスク上の任意の場所に空のフォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- FDの場合 2.で表示される枚数分のフォーマット済みのフロッピーディスクを用意する。

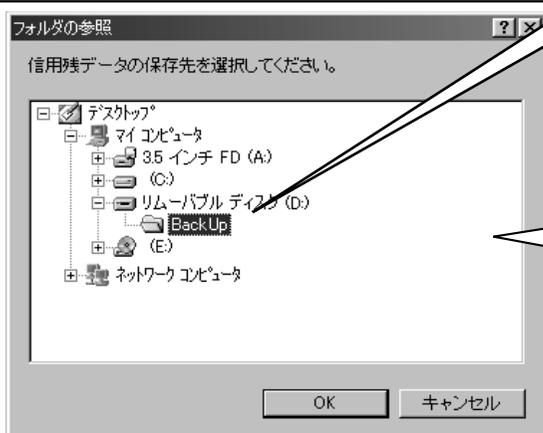
1. 「信用残データ」メニュー→「信用残データ保存」の順にクリックします。



2. 「信用残データ」ダイアログが表示されますので[全銘柄] ボタンをクリックします。



3. 「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
保存先のフォルダを指定して[OK]ボタンをクリックします。

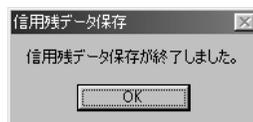


注意!

左図はMOを利用した例です。
CD-Rの場合はハードディスク上の任意の場所に用意したフォルダを、フロッピーディスクの場合は3.5インチFDをそれぞれ選択します。

4. 選択されたフォルダに信用残データがコピーされます。

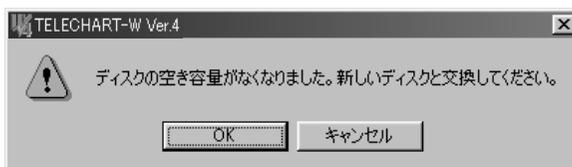
5. 「信用残データの保存が終了しました。」
のメッセージが表示されたら終了です。
[OK]ボタンをクリックします。



6. CD-Rの場合は、上記の手順によりハードディスク上に作成されたバックアップフォルダをさらにCD-R (CD-Rへの書き込み方法はお手持ちのCD-R書き込みソフトに添付のマニュアルを参照してください。)に書き込みます。

注意!

保存が終了しない!?



コピー中に「ディスクの空き容量がなくなりました。新しいディスクと交換してください。」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されましたら、ディスクのアクセスランプが消えたのを確認し、別のメディアに交換してください。

大容量メディアで空き容量が十分あるにもかかわらずこのメッセージが表示された場合は、『3』の「保存が終了しない!?!」を参照してください。

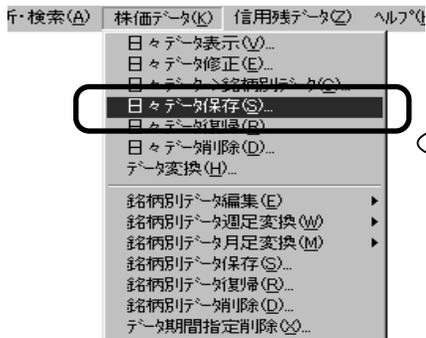
●日々データのバックアップ

日々データはデータ取込を行うごとに作成されます。この日々データを利用して銘柄別データが作成されます。

利用する保存メディアごとにバックアップの準備として以下のことを行ってください。

- MOの場合 MO内に空の保存フォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- CD-Rの場合 ハードディスク上の任意の場所に空のフォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- FDの場合 2.で表示される枚数分のフォーマット済みのフロッピーディスクを用意する。

1. 「株価データ」メニュー→「日々データ保存」の順にクリックします。



2. 「日々データ選択」ダイアログが表示されますので、保存する日付のデータをクリックして選択します。

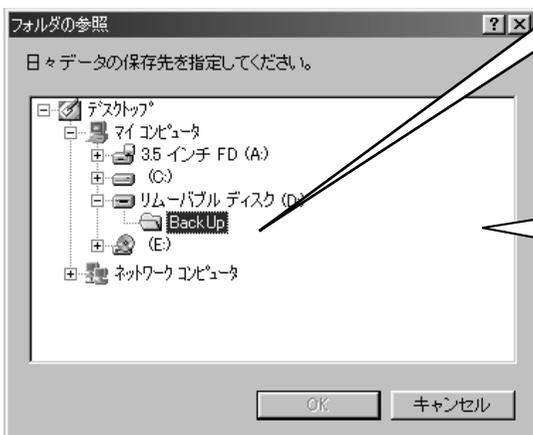


参考 複数の銘柄を選択

複数のファイルを選択するにはキーボードの「Ctrl」キーや「Shift」キーを押しながらクリックします。

3. 保存する日付の選択が終了しましたら [保存] ボタンをクリックします。

4. 「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
保存先のフォルダを指定して [OK] ボタンをクリックします。



注意!

左図はMOを利用した例です。
CD-Rの場合はハードディスク上の任意の場所に用意したフォルダを、フロッピーディスクの場合は3.5インチFDをそれぞれ選択します。

5. 選択されたフォルダに日々データがコピーされます。

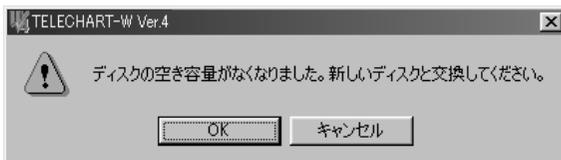
6. 「日々データの保存が終了しました。」のメッセージが表示されたら終了です。
[OK] ボタンをクリックします。



7. CD-Rの場合は、上記の手順によりハードディスク上に作成されたバックアップフォルダをさらにCD-R (CD-Rへの書き込み方法はお手持ちのCD-R書き込みソフトに添付のマニュアルを参照してください。)に書き込みます。

注意!

保存が終了しない!?



コピー中に「ディスクの空き容量がなくなりました。新しいディスクと交換してください。」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、ディスクのアクセスランプが消えたのを確認し、別のメディアに交換してください。

大容量メディアで空き容量が十分あるにもかかわらずこのメッセージが表示された場合は、『**3**』の「保存が終了しない!?!」を参照してください。

●週残データのバックアップ

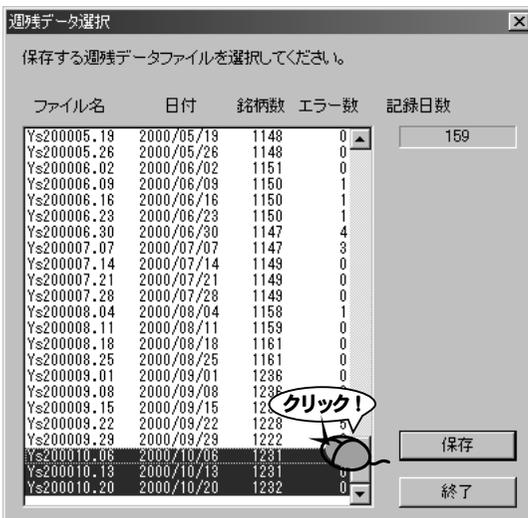
週残データとは週末の売り残、買い残が記録されている1週分のデータです。
利用する保存メディアごとにバックアップの準備として以下のことを行ってください。

- MOの場合 MO内に空の保存フォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- CD-Rの場合 ハードディスク上の任意の場所に空のフォルダを作成する。(「エクスプローラ」などで、「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」の順にクリック。)
- FDの場合 2.で表示される枚数分のフォーマット済みのフロッピーディスクを用意する。

1. 「信用残データ」メニュー→「週残データ保存」の順にクリックします。



2. 「週残データ選択」ダイアログが表示されますので、保存する日付のデータをクリックして選択します。



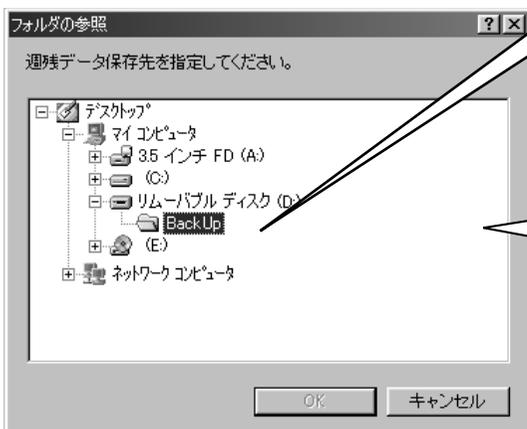
参考

複数の銘柄を選択

複数のファイルを選択するにはキーボードの「Ctrl」キーや「Shift」キーを押しながらクリックします。

3. 保存する日付の選択が終了しましたら [保存] ボタンをクリックします。

4. 「フォルダの参照」ダイアログが表示されます。
保存先のフォルダを指定して [OK] ボタンをクリックします。

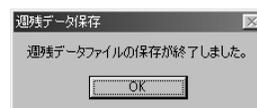


注意!

左図はMOを利用した例です。
CD-Rの場合はハードディスク上の任意の場所に用意したフォルダを、フロッピーディスクの場合は3.5インチFDをそれぞれ選択します。

5. 選択されたフォルダに週残データがコピーされます。

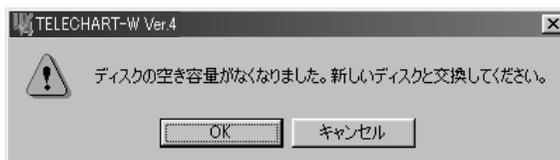
6. 「週残データの保存が終了しました。」のメッセージが表示されたら終了です。
[OK] ボタンをクリックします。



7. CD-Rの場合は、上記の手順によりハードディスク上に作成されたバックアップフォルダをさらにCD-R (CD-Rへの書き込み方法はお手持ちのCD-R書き込みソフトに添付のマニュアルを参照してください。)に書き込みます。

注意!

保存が終了しない!?



コピー中に「ディスクの空き容量がなくなりました。新しいディスクと交換してください。」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、ディスクのアクセスランプが消えたのを確認し、別のメディアに交換してください。

大容量メディアで空き容量が十分あるにもかかわらずこのメッセージが表示された場合は、『**3**』の「保存が終了しない!?!」を参照してください。

定期的に すること -2

いらないファイルを削除しよう

日々データおよび週残データは一時的なファイルですので、古いデータをハードディスク内に残したままにしておくとハードディスクの空き容量をどんどん消費してしまいます。

いらなくなった日々データおよび週残データは定期的に削除することをおすすめします。

1 いらなくなった日々データを削除しよう

日々データはデータ取込を行うごとに作成され、銘柄別データに追加されるまで必要な一時的なファイルです。

日々データは銘柄別データに追加後は、基本的には必要なくなります。

1. 「株価データ」メニュー→「日々データ削除」の順にクリックします。

2. 「日々データ選択」ダイアログが表示されますので、削除する日付のデータをクリックして選択します。



複数の銘柄を選択

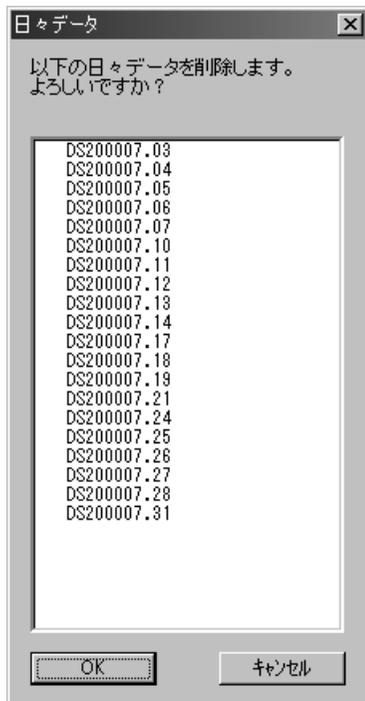
複数のファイルを選択するには
キーボードの「Ctrl」キーや
「Shift」キーを押しながらクリ
ックします。

参考

パソコンの故障等による不意のデータ喪失に備えて、バックアップを行っておけば削除後もデータの復帰が可能です。

3. 削除する日付の選択が終了しましたら [削除] ボタンをクリックします。

4. 削除する日々データの確認メッセージが表示されます。
削除する日付に間違いがないかどうか確認し [OK] ボタンをクリックします。削除が実行されます。



5. 「日々データの削除が終了しました。」というメッセージが表示されたら終了です。

2 いらなくなった週残データを削除しよう

週残データは週末に1ファイルずつ作成され、信用残データに追加されるまで必要な一時的なファイルです。

週残データは信用残データに追加後は、基本的には必要なくなります。

1. 「信用残データ」メニュー→「週残データ削除」の順にクリックします。

2. 「週残データ選択」ダイアログが表示されますので、削除する日付のデータをクリックして選択します。



複数の銘柄を選択

複数のファイルを選択するには
キーボードの「Ctrl」キーや
「Shift」キーを押しながらクリ
ックします。

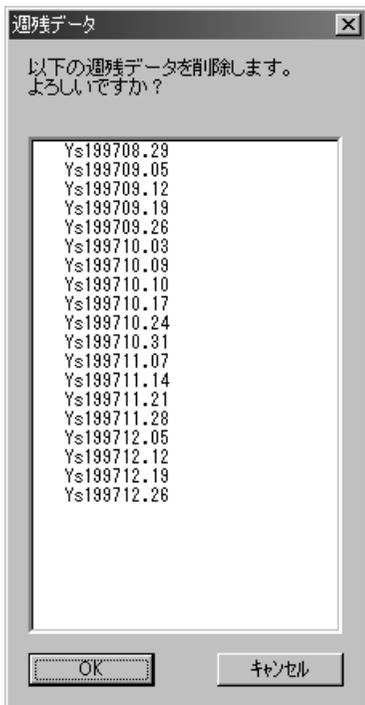
3. 削除する日付の選択が終了したら [削除] ボタンをクリックします。

参考

パソコンの故障等による不意のデータ喪失に備えて、バックアップを行っておけば
削除後でもデータの復帰が可能です。

4.

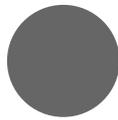
削除する週残データの確認メッセージが表示されます。
削除する日付に間違いがないかどうか確認し[OK]ボタンをクリック
します。削除が実行されます。



5.

「週残データの削除が終了しました。」というメッセージが表示されたら終了です。

使ってみよう



1. テレチャート・Wの画面
2. 株価ボードを使ってみよう
3. 目的の銘柄を探し出そう
4. 注目銘柄だけを表示しよう
5. 株価チャートを表示しよう
6. ザラバチャートを表示しよう
7. 投資銘柄を絞り込もう
8. 持ち株を管理しよう

使ってみよう-1

テレチャート・Wの画面

テレチャート・Wを初めて起動したときは、メイン画面である「株価ボード」が表示されます。

表示は「株価ボード」、「銘柄リスト」、「分析データ」、「総合市況」、「株式資産管理」の各画面に簡単に切り替えることができます。

次回起動時はテレチャート・W終了時に表示されていた機能画面が表示されます。

株価ボード

The screenshot shows the main interface of the software. At the top, there are menu options like '表示(B)', '設定(D)', '情報(I)', '分析(A)', '株価(F)', '銘柄リスト(L)', '分析データ(D)', '総合市況(S)', and '株式資産管理(M)'. Below the menu is a grid of stock prices with columns for stock names, current prices, and changes. On the right side, there is a '銘柄リスト' (Stock List) panel with a search bar and a list of stocks. A callout bubble with a hand icon and the word 'クリック!' (Click!) points to a specific stock in the grid.

銘柄リスト

分析データ

総合市況

The screenshot shows the '株式資産管理' (Stock Asset Management) screen. It features a table with columns for 'No.', '銘柄名' (Stock Name), '状態' (Status), '取得日' (Acquisition Date), '取得単価' (Acquisition Price), '取得枚数' (Acquisition Quantity), '取得金額' (Acquisition Amount), '現在単価' (Current Price), '現在金額' (Current Amount), and '評価差' (Evaluation Difference). Below the table, there are several summary statistics and a small chart.

株式資産管理

The screenshot shows the '総合市況' (Overall Market Situation) screen. It displays a grid of pie charts, each representing a different market segment or index. The charts are arranged in a grid, and each chart has a percentage value next to it. The interface also includes a search bar and some navigation buttons.

クリックするとメニューのトキが隠れる。

1 テレチャート・Wの画面機能

株価ボード	インターネット上に存在する株価データを、証券会社の株価ボードのように表示します。始値・高値・安値・現在値・出来高などが表示されます。
銘柄リスト	登録のある銘柄が一覧表示されます。
分析データ	各指標の計算結果や銘柄の絞込検索の結果が表示されます。
総合市況	値上がり、値下がり、変わらず、出来ずの各銘柄数の割合をグラフで表示されます。市況全体の傾向を見るのに適しています。
株式資産管理	投資した銘柄の記録や最新の株価による損益を算出した結果が表示されます。

2 各画面のボタン一覧

●アイコンバーのボタン

 [受信ON/OFF] インターネットからのデータの受信の開始・停止を操作します。「ON」は受信中、「OFF」は受信停止中を表します。	 [銘柄リスト] 画面表示を銘柄リストに切り替えます。	 [監視アラームログ表示] 監視アラームが鳴った履歴を表示します。
 [受信ON/OFF] インターネットからのデータの受信の開始・停止を操作します。「ON」は受信中、「OFF」は受信停止中を表します。	 [株価ボード] 画面表示を株価ボードに切り替えます。	 [分析データ] 画面表示を分析データに切り替えます。
 [銘柄メンテナンス] 銘柄メンテナンスを開始します。	 [総合市況] 画面表示を総合市況に切り替えます。	 [株式資産管理] 表示画面を株式資産管理に切り替えます。
 [データ取込] データ取込を開始します。		

● ツールバーのボタン



【ツールバーのボタンの機能】

ボタン	ボタン名称	機能
	[銘柄グループ保存]	「銘柄グループ」ダイアログを表示します。 新しい銘柄グループ名を登録します。
	[銘柄グループ編集]	「銘柄グループ」ダイアログを表示します。 既存の銘柄グループを編集します。
	[日足]	株価ボード・銘柄リスト上で表示する株価チャートを日足のデータに切り替えます。分析データ上では日足を表示します。
	[週足]	株価ボード・銘柄リスト上で表示する株価チャートを週足のデータに切り替えます。分析データ上では週足を表示します。
	[月足]	株価ボード・銘柄リスト上で表示する株価チャートを月足のデータに切り替えます。分析データ上では月足を表示します。
	[コード番号呼出]	「呼出」ダイアログを表示します。 コード番号を入力し該当する銘柄を呼び出します。
	[読みがな呼出]	「呼出」ダイアログを表示します。 銘柄名または読みがなを入力し該当する銘柄を呼び出します。
	[市場選択]	市場をリスト表示します。 選択した市場の先頭銘柄を呼び出します。
	[銘柄情報]	「銘柄情報」ダイアログを表示します。 個々の銘柄の登録内容、現在の株価等を表示します。
	[株価チャート]	個々の銘柄の株価チャートを表示します。
	[ザラバチャート]	個々の銘柄のザラバチャートを表示します。
	[ホームページ]	個々の銘柄のホームページを表示します。 ※銘柄辞書にアドレスが登録されていない場合は表示できません。
	[銘柄別データ表示]	銘柄別データ（日足・週足・月足を選択）を表示します。
	[株価ボードサイズ 1]	株価ボードのサイズを変更します。 一画面に表示できる銘柄数が最も多いサイズです。
	[株価ボードサイズ 2]	株価ボードのサイズを変更します。 標準のサイズです。

ボタン	ボタン名称	機能
	[株価ボードサイズ3]	株価ボードのサイズを変更します。 個々の銘柄を最も大きく表示します。
	[出来高/時間切替]	出来高と時間(値が付いた時間)の表示を切り替えます。
	[前/当日比]	表示データを当日比と前日比に切り替えます。
	[手動ソート]	任意のタイミングで「自動ソート」の条件に従い、銘柄を並べ替えます。
	[元に戻す]	手動ソートやランキングで並べ替えられた銘柄を、元のコード番号順の並びに戻します。
	[分析クエリー実行]	「分析クエリー実行」ダイアログが表示されます。
	[計算]	「分析データ計算」ダイアログが表示されます。
	[検索]	「検索」ダイアログが表示されます。
	[ランキング]	「ランキング」ダイアログが表示されます。 ランキング条件を設定し銘柄を並べ替えます。
	[円/棒グラフ]	総合市況の表示を円グラフ、棒グラフに切り替えます。
	[パーセント/銘柄数]	総合市況の表示単位を銘柄数、パーセントに切り換えます。
	[売買データ新規作成]	株式資産管理で新しい売買データファイルを作成します。
	[売買データの選択]	株式資産管理で売買データファイルを選択するダイアログが表示されます。
	[売買データの保存]	株式資産管理で売買データに追加した内容を保存するダイアログが表示されます。
	[売買データの整理]	株式資産管理で決済と保有のレコードを分類し、日付順に整理して見やすくします。
	[売買データの印刷]	株式資産管理で「売買データ印刷」ダイアログが表示されます。
	[総合リスト]	株式資産管理で記録されたすべての売買データを表示します。
	[個別リスト]	株式資産管理で選択された銘柄の売買データのみ表示します。
	[記帳]	株式資産管理で「記帳」ダイアログを表示します。 売買データに売りや買いを入力します。
	[記帳データ 1行削除]	株式資産管理で誤って入力した売買データを削除します。
	[記帳データ 1行復帰]	株式資産管理で誤って削除した売買データを復帰します。
	[手数料メンテナンス]	株式資産管理で「株券委託手数料メンテナンス」ダイアログを表示します。
	[税率メンテナンス]	株式資産管理で「税率メンテナンス」ダイアログを表示します。

●ステータスバー



① ステータス表示

現在の動作状況を表示します。

参考

受信中のブロック番号および為替データの受信状況が表示されます。

② タイマー

「内部タイマー」設定のON・OFF状態を表示します。

③ クエリー

データ取込時の「分析クエリー自動実行」設定のON・OFF状態を表示します。

④ ソート

株価ボードの「自動ソート」設定のON・OFF状態を表示します。

⑤ アラーム

「株価監視アラーム」設定のON・OFF状態を表示します。

●為替市況

為替情報を表示します。

為替市況のデータは保存できません。

為替(\$-¥)
1日 17:30
・気配
115.99
115.99
・取引値
115.99

東京外国為替市場 気配

米ドル直物の気配値、取引値が表示されます。

●受信状況

現在受信している状況を表示します。

受信状況
・登録 3770
・進行 50
・受信 50
・未受 3720
・アラーム 0

・登録

銘柄辞書に登録されている銘柄数を表します。

・進行

現在、データ受信中の銘柄数を表します。

・受信

現在、データが受信済みとなった銘柄数を表します。

・未受

現在、データが未受信の銘柄数を表します。

・アラーム

現在監視アラームが設定されている銘柄数を表します。

使ってみよう-2

株価ボードを使ってみよう

株価ボードは証券会社の株価ボードと同じように、立ち会い中の株価を表示するものです。株価ボードには4本値(始値、高値、安値、現在値)、出来高、前日比、当日比、時間などが各銘柄ごとに表示されます。

1 株価ボードを表示しよう

1. 「株価ボード」アイコンをクリックします

参考 ショートカットキーでも
キーボードの「F2」キーを押しても
表示されます。

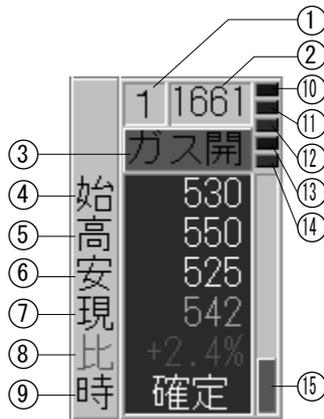
クリック!

11001	11002	11301	11331	11332	11334	11352	11377	11379	11503
平均株	TOP	極洋	ニチロ	日水	マルハ	サカタ	ホクト	住友炭	為替(\$-¥)
18026	1645	284	251	458	258				18:10
18053	1646	286	252	461	261				
15910	1633	280	248	457	256				
15984	1635	282	250	460	257				
-240	-24	-7	-3	0	-6				
16:00	15:01	15:00	15:00	15:00	15:00				

11515	11518	11601	11604	11661	11662	11786	11786	11773	11780	11786	11792	11801	11802	11803	11805
日鉄鉱	三松島	帝石	国際石	ガス開	石油資	高松建	東建コ	YTL	ヤマウ	オリエ	みらい	大成建	大林組	清水建	飛鳥建
852	203	1621	11200	919	7090	5110	6900	156	400	610	281	556	862	812	146
838	201	1599	11100	914	7070	5110	7300	156	402	616	285	580	862	814	152
248	202	1621	11200	917	7260	5050	6890	156	393	603	281	550	846	801	145
267	-7	4	0	-3	110	5080	7280	156	395	603	284	558	857	807	148
15:00	15:00	15:00	15:00	14:53	15:00	15:00	15:00	09:00	14:35	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00

11808	11810	11812	11813	11814	11815	11816	11819	11820	11821
長谷工	松井建	鹿島	不動建	大末建	鉄建	安藤建	太平工	西松建	三住建
396	579	687	178	163	299	325	405	488	630
401	579	687	178	168	303	330	409	488	635
392	587	682	172	162	294	318	402	481	617

2 株価ボードの見かた



- ① 市場
- ② コード番号
- ③ 銘柄名
- ④ 始値
- ⑤ 高値
- ⑥ 安値
- ⑦ 現在値・終値

各市場名は省略されて表示されます。

1	東証1部
2	東証2部
大	大証
名	名証
店	店頭
他	その他

- ⑧ 前日比・当日比←切替→前日比率・当日比率
- ⑨ 現在値を付けた時間(確定後は「確定」)←切替→出来高
- ⑩ 高値更新ランプ(高値の変更があると点滅)
- ⑪ 現在値更新ランプ(現在値の変更があると点滅)
- ⑫ 安値更新ランプ(安値の変更があると点滅)
- ⑬ 確定ランプ(確定データが受信されると点灯)
- ⑭ 監視アラームランプ(株価監視アラームが設定されている銘柄で点灯)
- ⑮ 前日比率・当日比率バーグラフ

● データの更新

データの更新は、回線速度やパソコンの動作速度によって違いが出てきますが、1つの銘柄がおよそ1分間隔で更新されます。

インターネット上の株価データは有料契約をした場合を除き20分の遅れがあります。

テレチャート・W起動直後の株価ボードは空欄状態ですが、時間の経過とともに数字が表示されていきます。

● 株価の表示

株価は始値、高値、安値、現在値（終値）を表示します。

商いが成立していない銘柄は各表示覧に“--”が表示されます。

ただし、商いが成立していなくても気配値がある場合は気配値を現在値の欄に表示します。

気配値の場合は前日比の欄に「ケイ」や「トケイ」、「トクリ」など気配値を表す表示がされます。店頭銘柄が気配値の場合は高値、安値の位置に気配値が表示される場合があります。

また、整理ポストに入った銘柄は「テイシ」の文字が表示されます。

	大5237	大5287	大5304
	ノザワ	イトー	エスイ
始	--	--	--
高	--	--	--
安	--	--	--
現	90	796	210
比	トクリ	ケイ	トケイ
出			

参考

額面5万円以上の銘柄の株価表示

株価ボードは数字6桁までしか表示できません。

額面が5万円以上の株価が100万円を越える銘柄については、高株価の指定をすることで100円単位で表示されます。

● 時刻の表示

出来高／時刻の切替えによって時刻表示を選択されている場合には、数分あるいは数時間前の時刻が表示されていることがあります。

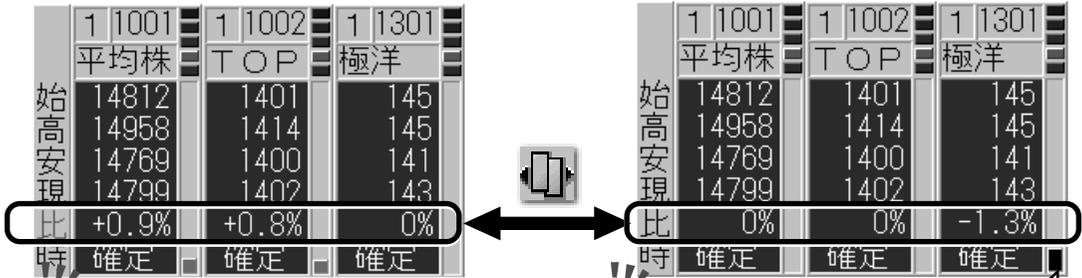
ここでは商いが成立した時刻を表示しています。

	1 1001	1 1001
	平均株	平均株
始	14852	14812
高	14857	14958
安	14662	14769
現	14662	14799
比	-0.9%	+0.9%
時	9:59	511.41

● 前日比と当日比

テレチャート・Wは4本値・出来高と同時に前日比のデータ（前日の終値と現在値の差額）も表示できます。また、1日のうちでどのように株価が変化したかを見るために当日比（当日の始値と現在値の差額）も表示できます。

前日比と当日比の切り替えはメニューバーの「前日比／当日比切替」ボタンで行います。また、実際の株価の差額では他の銘柄と比較しにくい場合があるので、株価ボードでは前日比、当日比をそれぞれ変化率（%）で表示できます。



参考

前日比と当日比の区別

株価ボード左側の「比」の表示が青色の場合は前日比、赤色の場合は当日比を表します。

参考

変化率バーグラフで表示

前日比や当日比の数値のみを見て判断するのは大変難しい作業です。株価ボードでは前日比、当日比の数値を基に変化の状況をバーグラフで表示します。

バーグラフは前日比と当日比の変化率（%）を基に値上げと値下げを別々の色で表示します。小さな変化を見逃さないように最大を10%の変化率として表示されます。（10%以上変化した銘柄はグラフが最大を表示します）



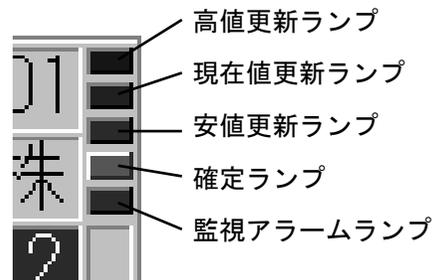
オプションとして、値上げ・値下げのグラフを中央から分離して、値上げは中央から上へ、値下げは中央から下へ伸びるグラフ（上下分離グラフ）表示もできます。

● ランプ表示

各更新ランプは、それぞれの数値が変更されたときに設定された時間点滅します。

このランプを監視することで、データが更新や、高値・安値が更新されたかがわかります。

確定ランプは、立ち会い中のデータからその日の確定データに変わったときに点灯し、監視アラームランプは株価監視アラームの設定がONになっている銘柄のみ点灯します。



注意！ 株価ボードの銘柄が勝手に並び変わってしまう？

「銘柄の並び順が銘柄グループと全く違う並び順になってしまった。」または「一定間隔で勝手に銘柄の並びが入れ替わってしまう。」といった場合は、株価ボードの機能の1つである、「ソート機能」が動作しています。

前者は「手動ソート」が実行された状態、後者は「自動ソート」機能が動作している状態です。

銘柄の並び順を元に戻すには、メニューバーの[元に戻す]ボタンをクリックしてください。



ただし、自動ソートの場合は、自動ソート機能を解除するために以下の操作を行ってから実行してください。

1. 「設定」メニューから「株価ボード」をクリックします。
2. 「自動ソート」にチェックが入っていることを確認します。
3. チェックが入っている場合は、自動ソートが機能していますので、「自動ソート」をクリックし、チェックを外します。

以上の操作で「自動ソート」機能が解除されます。



使ってみよう-3

目的の銘柄を探し出そう

テレチャート・Wでは、たくさんの銘柄の中から任意の銘柄を探し出すために「コード番号呼出」と「読みがな呼出」の2種類が用意されています。コード番号がわかっている場合は「コード番号呼出」を、コード番号がわからない場合は「読みがな呼出」を実行すると良いでしょう。

1 コード番号呼出を使ってみよう

参考

株価ボードで「東 1 7203 トヨタ」を表示します。

ここでは例として、株価ボード画面を表示中に、「トヨタ」の銘柄を表示してみます。

1. 「コード番号呼出」アイコンをクリックします。



2. 「呼出」ダイアログが表示されます。

3. コード番号を入力します。

市場	コード	銘柄名	読み仮名
東1	7201	日産自	ニッサン自動車
東1	7202	いすゞ	いすゞ自動車
東1	7203	トヨタ	トヨタ自動車
東1	7204	コマツゼノア	コマツゼノア
東1	7205	日野自	ヒノ自動車
東1	7210	日産デ	ニッサンディーゼル
東1	7211	三菱自	ミツビシ自動車
東1	7221	トヨタ車	トヨタ自動車
東1	7222	日産車	ニッサン自動車
東1	7223	関東自	カント自動車
東1	7224	新明和	シンメイワ自動車

参考

コード番号が正確にわからない！

コード番号が正確にわからない場合は、上位の桁から順に入力すると、候補銘柄がリストに表示されます（この画面では、「72」と入力しているので、7200番台の全ての銘柄がリストに表示されています）ので、リストから目的の銘柄を探し出すこともできます。

4. 該当銘柄が表示されます。該当銘柄が複数存在する場合は、目的の銘柄をクリックします。

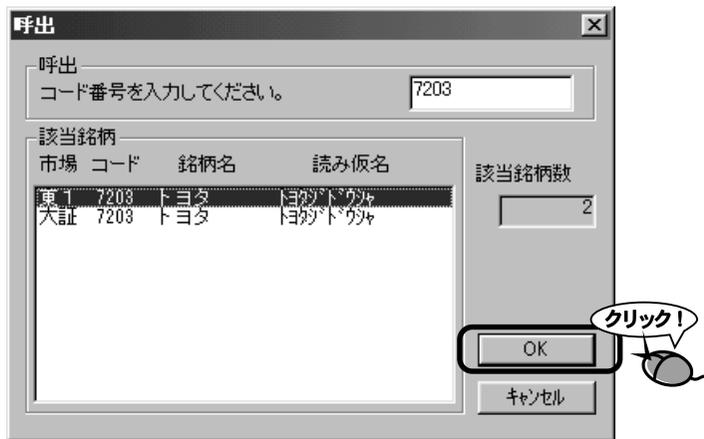
市場	コード	銘柄名	読み仮名
東1	7203	トヨタ	トヨタ自動車
東1	7203	トヨタ	トヨタ自動車

注意！ あるはずの銘柄が表示されない！

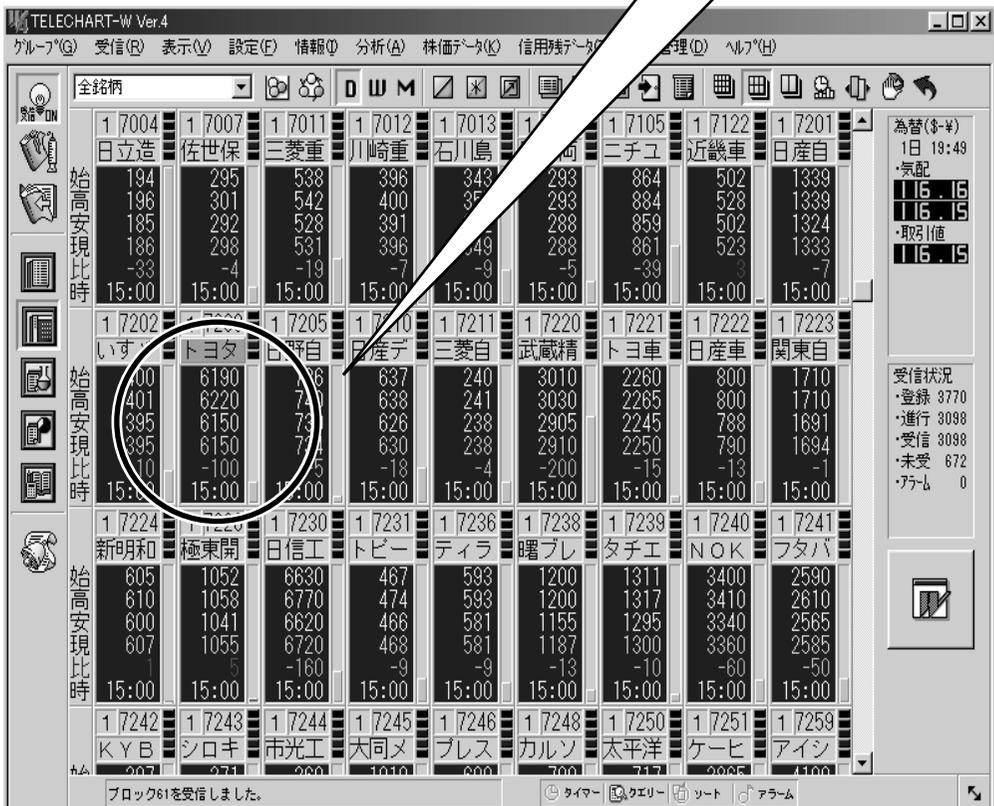
入力したコード番号は合っているはずなのに該当する銘柄が表示されない場合があります。

これは、株価ボードで「銘柄グループ」が選択されていたり、分析データ画面で「検索」を行ったりして、呼び出したい銘柄が表示されていない状態の場合起こります。このような場合は、「全銘柄」グループを選択後、再度、呼出を実行してください。

5. [OK] ボタンをクリックします。



6. 該当銘柄が表示されます。



2 読みがな呼出を使ってみよう

参考

株価ボードで「東1 7203 トヨタ」を表示します。

ここでは例として、株価ボード画面を表示中に、「トヨタ」の銘柄を表示してみます。

1. 「読みがな呼出」アイコンをクリックします。



ショートカットキーでも

キーボードの「*」キーを押しても表示されます。

2. 「呼出」ダイアログが表示されます。

参考

日本語を入力するには？

読みがな呼出を実行すると、自動的に日本語入力ができるようになります。ただし、ローマ字入力やひらがな入力などの設定は、お客様のパソコン固有の設定に基づきますので、お手持ちのパソコンのマニュアル等を参照してください。

3. 銘柄名を入力します。

呼出

銘柄名・読みがなを入力してください。 トヨタ

銘柄名を入力

該当銘柄		市場	コード	銘柄名	読み仮名	該当銘柄数
東	1	7203	ト	ヨタ	トヨタ	3
大証		7203	ト	ヨタ	トヨタ	
名証		8293	愛	トヨタ	アイトヨタ	

参考

銘柄名が正確にわからない！

正確な銘柄名がわからない場合は、先頭の1文字や途中の文字列を入力すると、文字の一致する銘柄がリストに表示されます。

注意！ 銘柄名の表示

テレチャート・Wで表示される銘柄名は、正式な企業名ではありませんのでご注意ください。テレチャート・Wでは、銘柄名を短縮して使用しておりますので、正式な銘柄名を入力しても呼び出すことができない場合があります。このような場合は、半角カタカナで入力していただくと呼び出すことができます。

4. 該当銘柄が表示されます。該当銘柄が複数存在する場合は、目的の銘柄をクリックします。

呼出

銘柄名・読みがなを入力してください。 トヨタ

銘柄名を入力

該当銘柄		市場	コード	銘柄名	読み仮名	該当銘柄数
東	1	7203	ト	ヨタ	トヨタ	3
大証		7203	ト	ヨタ	トヨタ	
名証		8293	愛	トヨタ	アイトヨタ	

クリック！

注意！ あるはずの銘柄が表示されない！

入力したコード番号は合っているはずなのに該当する銘柄が表示されない場合があります。

これは、株価ボードで「銘柄グループ」が選択されていたり、分析データ画面で「検索」を行ったりして、呼び出したい銘柄が表示されていない状態の場合起こります。このような場合は、「全銘柄」グループを選択後、再度、呼出を実行してください。

使ってみよう-4

注目銘柄だけを表示しよう

テレチャート・Wのメイン画面には、注目している銘柄だけを選択して表示することができます。この注目している銘柄の集合を「銘柄グループ」と呼んでいます。

銘柄グループはいくつでも作ることができ、好きな名前をつけて保存しておくことができます。

1 銘柄グループを作成しよう

参考

「自動車」というグループを作ります

ここでは、例として「自動車」というグループを作成します。

このグループに登録する銘柄は

「7201	東1	日産自	「7202	東1	いすゞ	「7203	東1	トヨタ
「7211	東1	三菱自	「7261	東1	マツダ	「7262	東1	ダイハツエ
「7267	東1	本田技	「7269	東1	スズキ	「7270	東1	富士重

の9銘柄とします。

1. 「グループ」メニューの「グループ操作」をクリックします。



2. 「銘柄グループ」ダイアログが表示されます。

3. [新規グループ] ボタンをクリックします。



4. 「新規グループ」ダイアログが表示されます。

5. 新規に作成する銘柄グループの名前を入力します。



例では「自動車」と入力します

銘柄グループ名にはわかりやすい名前をつけると良いでしょう。

注意! すでに存在するグループ名を入力しない!

同じ名前の銘柄グループを複数作成することはできません。既存の銘柄グループと同じ名前を入力するとエラーになります。既存の銘柄グループ名を変更するか違う名前を入力してください。

6.

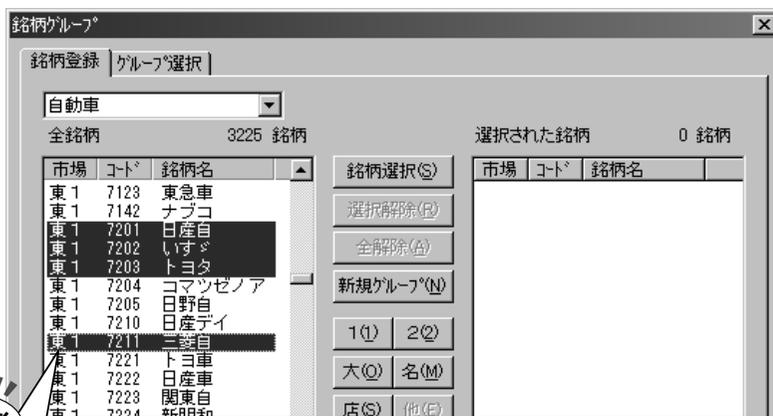
銘柄グループの入力が終わったら [OK] ボタンをクリックします。
「銘柄登録」ダイアログに戻ります。



5. で入力した銘柄グループ名が表示されます。

7.

登録する銘柄を選択します。
左側の「全銘柄」リストで登録する銘柄をクリックし、選択状態とします。



参考

複数の銘柄を一度に選択することができます

キーボードの「Ctrl」キー（飛び複数選択）や「Shift」キー（連続複数選択）を押しながらクリックすると、複数の銘柄を選択状態とすることができます。

参考

特定の銘柄を呼び出すには

特定の銘柄を呼び出すには、[コード]、[読み] ボタンをクリックし銘柄呼び出し機能を使うと便利です。

8.

[銘柄選択] ボタンをクリックします。
左側の「全銘柄」リストで選択された銘柄が、右側の「選択された銘柄」リストに追加されます。



参考

ダブルクリックやドラッグ&ドロップでも

銘柄を選択するには [銘柄選択] ボタンをクリックする方法の他に、銘柄のダブルクリックや、「全銘柄リスト」から「選択された銘柄」リストまでドラッグ&ドロップすることで選択することもできます。

参考

まちがった銘柄を選択してしまった

あやまって銘柄グループに登録する必要のない銘柄を選択してしまった場合は、「選択された銘柄」リストから該当する銘柄をクリックし選択状態とします。つづいて、[選択解除] ボタンをクリックしますと選択が解除され、「選択された銘柄」リストから削除されます。

参考

銘柄の表示順

メイン画面に表示される銘柄の表示順は、「選択された銘柄」リストで表示されている順番になります。
「選択された銘柄」リストでは、ドラッグ&ドロップで表示順を入れ替えることができます。

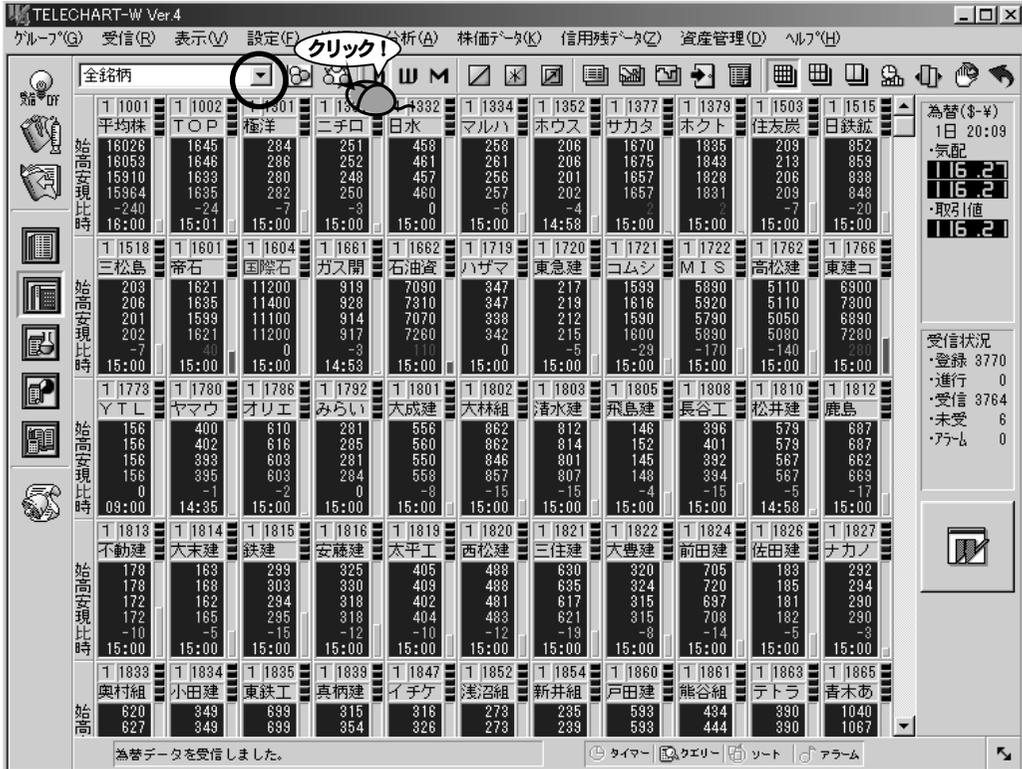
9. 7. および 8. の操作を繰り返し、登録する銘柄をすべて選択します。

10. [OK] ボタンをクリックし、終了します。



2 銘柄グループを表示しよう

1. 画面左上にあるコンボボックスの「▼」をクリックします。



2 現在登録されている銘柄グループの一覧が表示されます。



3. 目的の銘柄グループを選択します。



4. メイン画面に登録されている銘柄のみが表示されます。

TELECHART-W Ver.4
グループ(G) 受信(R) 表示(V) 設定(F) 情報(I) 分析(A) 株価データ(K) 信用残データ(C) 資産管理(O) ヘルプ(H)

自動車

銘柄	17201	17203	17211	17267	17261	17270	17269	為替(\$-¥)
日産自	1339	6190	240	6850	666	619	2340	1日 20:19 ・気配 116.28
始高	1339	6220	241	6860	669	625	2365	116.25
安値	1324	6150	238	6800	646	611	2320	・取引値 116.25
現値	1333	6150	238	6840	650	612	2350	
比時	-7	-100	-4	-60	-16	-18	30	
時	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	
銘柄	17262	17202						受信状況
ダイハ	1167	400						・登録 3770
いすゞ	1167	401						・進行 0
始高	1143	395						・受信 3764
安値	1145	395						・未受 6
現値	-19	-10						・アラム 0
比時								
時	15:00	15:00						
銘柄								
始高								
安値								
現値								
比時								
時								

為替データを受信しました。

タイマー クエリー ソート アラーム

使ってみよう-5

株価チャートを表示しよう

株価の分析に欠かせない個々の銘柄の株価チャートを見てみましょう。

1 株価チャートを表示しよう

1. 「銘柄リスト」や「株価ボード」で見たい銘柄を選択します。
※株価ボードの銘柄名をマウスでクリックすると、銘柄名の背景がみどり色に変わります。この状態が銘柄が選択された状態です。

2. 「株価チャート」ボタンをクリックします。
※「情報」メニューの「株価チャート」をクリックしてもOK。



3. 選択した銘柄の「株価チャート」ウィンドウが表示されます。



2 「足」を切り換えよう



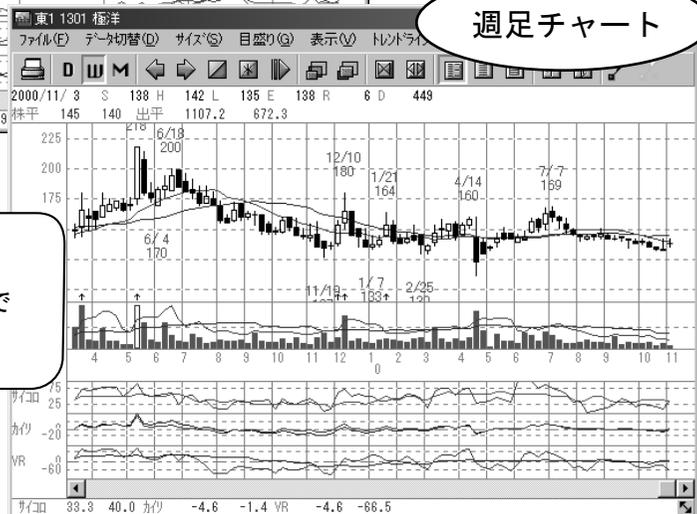
1.

「週足」ボタンをクリックします。
週足チャートに変わります。

※月足に変更する場合は「月足」ボタンを、日足に戻す場合は「日足」ボタンをそれぞれクリックします。



月足チャート



週足チャート

参考

最大10個まで

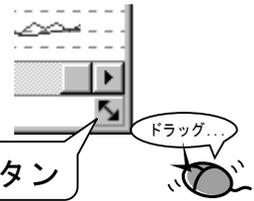
株価チャートは最大10個まで
開くことができます。

3 株価チャート画面のサイズ変更

1.

株価チャート画面右下のリサイズボタンをドラッグします。

※ドラッグとはマウスの左ボタンを押したまま移動させることです。

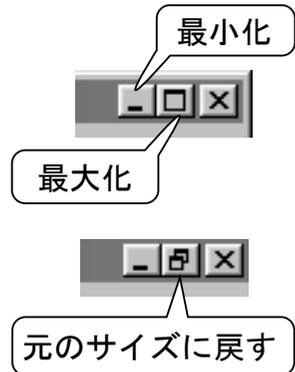


最大化と元のサイズに戻す

ウィンドウのサイズを画面いっぱいの大きさにするときには、「最大化」ボタンをクリックしてください。ウィンドウがモニター画面いっぱいに広がります。

元の大きさに戻すときは、「元のサイズに戻す」ボタンをクリックしてください。

「最小化」ボタンをクリックするとウィンドウは見えなくなります。最小化されたウィンドウを元に戻すときは、タスクバーのボタンをクリックしてください。

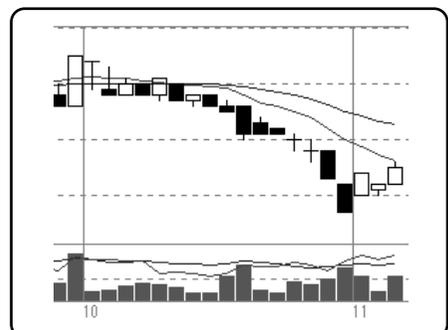
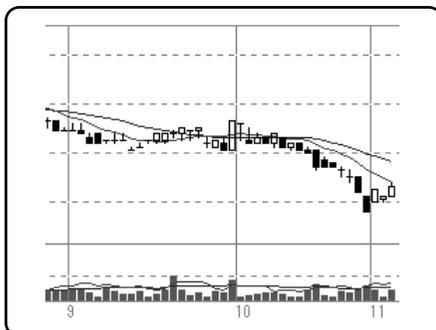


4 チャートの幅を拡大しよう

1.

「チャート幅拡大」ボタンをクリックします。

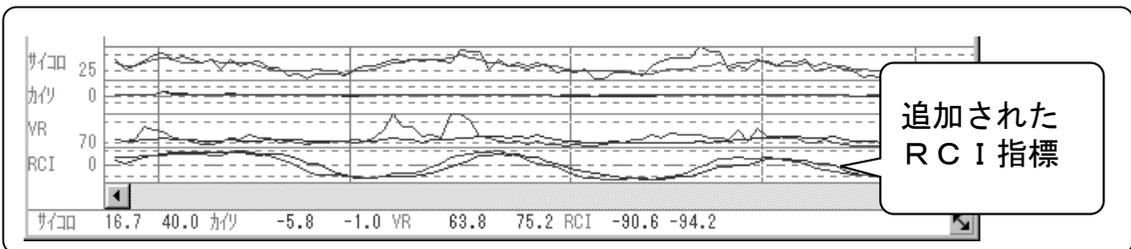
※逆にチャート幅を縮小するときは「チャート幅縮小」ボタンをクリックします。



5 表示する指標を追加しよう

株価チャート上で表示する指標を変更するには、「株価チャート表示設定」ダイアログ、メニュー、ショートカットキーの3種類の方法がありますが、ここでは、メニューによる「RCI」の追加方法を説明します。

1. 「表示」メニューの「オシレータ」→「RCI」の順にクリックします。



注意!

新しく株価チャートを開いたら表示が元に戻った!?

株価チャート画面で設定した内容は、その画面固有の設定ですので、ウィンドウを閉じると設定は元に戻ります。表示項目を固定したい場合は、メイン画面の「設定」メニューの「株価チャート」→「チャート表示設定」の順にクリックして、「株価チャート表示設定」ダイアログで設定を変更してください。変更後に開いた株価チャート画面から反映されます。

6

指標グラフを大きく表示させる

オシレータビューにたくさんの指標を表示すると一つ一つが小さくなって見づらくなります。そのようなときには、フレキシブルビューやシングルビュー機能をご利用ください。

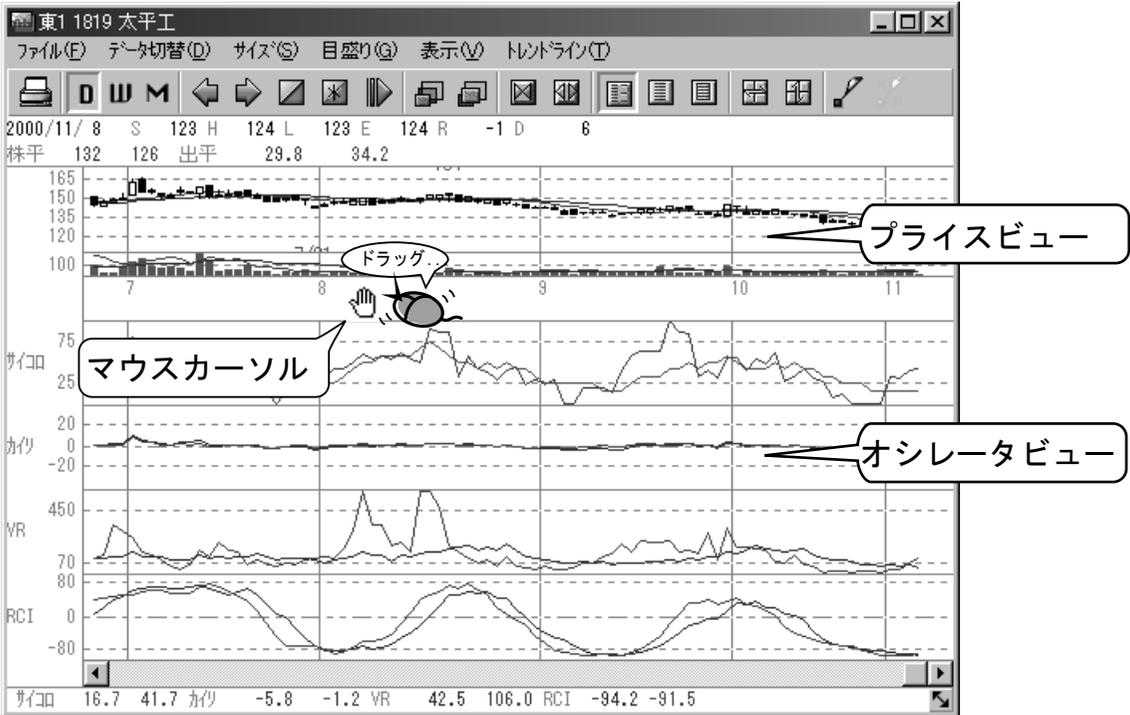
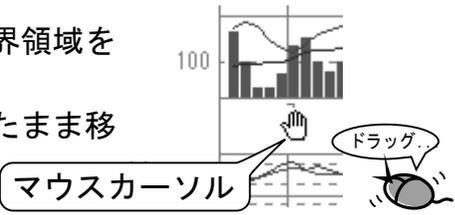
フレキシブルビュー機能とは、プライスビュー領域とオシレータビュー領域の境界位置を上下に移動する機能です。

シングルビュー機能とは、オシレータビューに表示された指標の一つをオシレータビュー領域全体に表示する機能です。

●フレキシブルビュー機能

プライスビューとオシレータビューの境界領域を上方向にドラッグしてください。

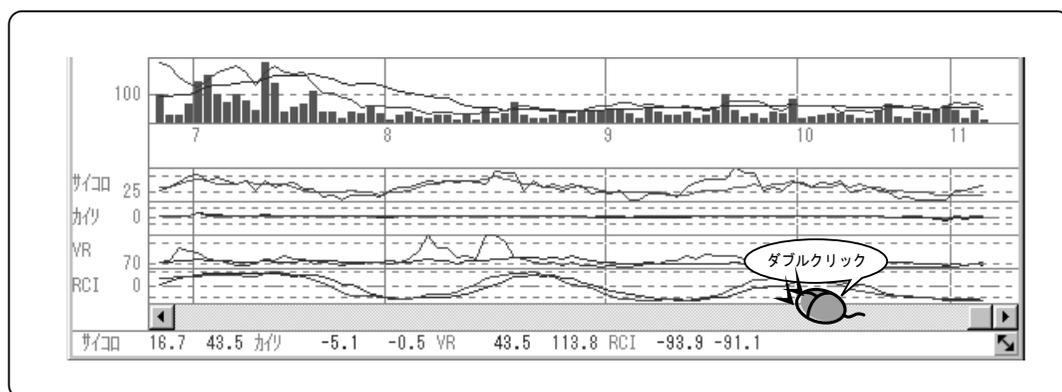
※ドラッグとはマウスの左ボタンを押したまま移動させることです。



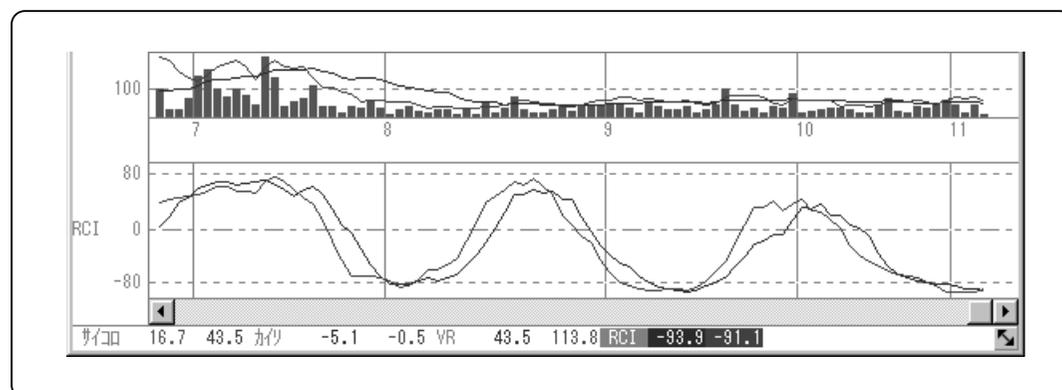
●シングルビュー機能

大きくする指標のグラフ表示領域をダブルクリックしてください。選択した指標がオシレータビュー領域に広がります。元に戻す場合は、もう一度グラフ領域をダブルクリックしてください。

※ダブルクリックとはマウスの左ボタンを舐、舐っと素早くクリックすることです。



シングルビュー実行

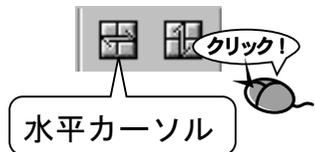


7 カーソルを表示させる

過去の株価が知りたいときにグラフ上では大まかな数値しか読みとれませんが、横に移動するカーソルを表示させ、その日付に合わせれば、過去の株価や出来高を数値で確認することができます。左右に動くのを「水平カーソル」、上下に動くのを「垂直カーソル」と呼びそれぞれ自由に移動することができます。

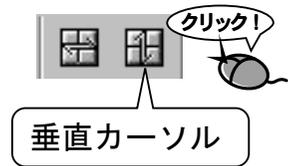
●水平カーソル

「水平カーソル」ボタンをクリックしてください。チャート画面右端に緑色の縦線が表示されます。水平カーソルの移動はキーボードの[←]、[→]キーか、マウスでグラフ上をクリックしてください。



●垂直カーソル

「垂直カーソル」ボタンをクリックしてください。チャート画面上部に緑色の横線が表示されます。垂直カーソルの移動はキーボードの[↑]、[↓]キーか、マウスでグラフ上をクリックしてください。



8 表示する銘柄を切り換える

別の銘柄の株価チャートを見たい場合は、メイン画面から新しい株価チャート画面を開く必要がありますが、それ以外に、現在開いている株価チャート画面に見たい銘柄を呼び出すことができます。「コード番号呼出」や「読みがな呼出」で見たい銘柄に切り換えてください。

●コード番号呼出

「コード番号呼出」ボタンをクリックしてください。「呼出」ダイアログが表示されますので、4桁のコード番号を入力して、[OK]をクリックしてください。



●読みがな呼出

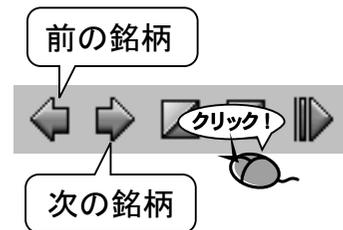
「読みがな呼出」ボタンをクリックしてください。「呼出」ダイアログが表示されますので、読みがなまたは銘柄名を入力してください。[該当銘柄]リストに表示された銘柄を選択して[OK]をクリックしてください。



●前・次の銘柄

「次の銘柄」ボタンをクリックするとメイン画面（株価ボードや銘柄リスト）に並んでいる次の銘柄に切り換えます。「前の銘柄」ボタンで同じく前の銘柄に切り換えます。

※メイン画面が「株式資産管理」のときは、銘柄リストの並び順になります。



●自動銘柄送り

「自動銘柄送り」ボタンをクリックすると一定の時間間隔で自動的に次の銘柄へ切り換えます。時間の間隔は「株価チャート表示設定」ダイアログで変更可能です。解除はもう一度ボタンをクリックしてください。



9 株価チャートを閉じる

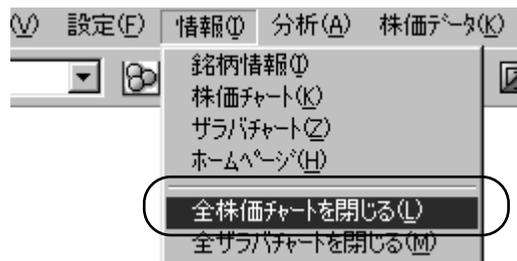
1. ウィンドウ右上隅にある「×」ボタンをクリックします。



参考

開いている株価チャートすべてを閉じる

一つ一つのチャートを閉じるのが面倒な場合は、「全株価チャートを閉じる」を利用して、開いている株価チャートすべてを一度に閉じることができます。



メイン画面の「情報」メニュー→「全株価チャートを閉じる」の順にクリックします。

使ってみよう-6

ザラバチャートを表示しよう

ザラバチャートは立ち会い中の株価の動きをグラフで表示します。
チャートは過去3日分まで表示できます。

1 ザラバチャートの見かた

1.

「銘柄リスト」や「株価ボード」で見たい銘柄を選択してください。
※株価ボードの銘柄名をマウスでクリックすると、銘柄名の背景の色がみどり色に変わります。この状態が銘柄が選択された状態です。

2.

「ザラバチャート」アイコンをクリックしてください。
※「情報」メニューの「ザラバチャート」をクリックしてもOK。



注意! データの更新間隔

ザラバチャートは、インターネットから受信するデータ更新間隔でデータを記録しますので、全ての立ち会い中の株価が表示されるわけではありません。例えば、回線速度が遅い場合や受信速度を遅く設定した場合、データが更新されるごとのデータを蓄積して表示します。

3. 選択した銘柄の「ザラバチャート」ウィンドウが表示されます。



注意! 株価ボードの高値・安値と一致しない?

上記のデータ更新間隔と関連しますが、必ずしも株価ボードの高値・安値とザラバチャートの表示は一致しません。

3分ごとにデータが更新される銘柄を例にしますと、

1. 10:00に株価100円が受信されます。
2. 10:01に最高値105円を記録します。
3. 10:03に103円に下がり、受信されます。

インターネット上からは、10:01→105円のデータは受信できません。したがって、ザラバチャートにもこのデータを記録することができません。

このような場合、3. のデータの受信時に高値を更新しますが、この高値を記録した時間は受信されません。したがって、高値をザラバチャートに記録することもできません。

2 ザラバチャートのサイズ変更

1. 「サイズ変更」アイコンをクリックします。



参考

3段階に変更可能

左側のアイコンから「小」「中」「大」のサイズに変更します。
なお、ザラバチャートウィンドウは自由なサイズに変更することはできません。

3 チャート幅を拡大しよう

1. 「チャート表示率変更」アイコンをクリックします。



現在の表示率

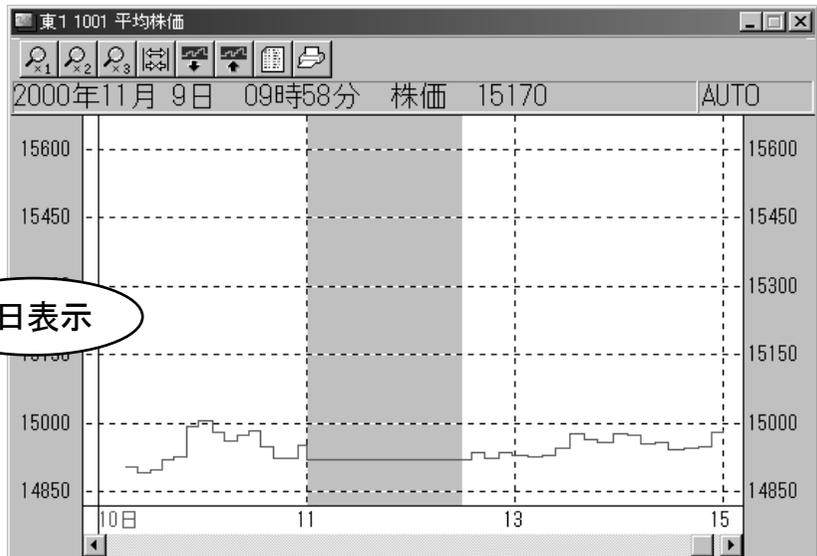
参考

5段階に変更可能

通常、AUTOモードにしておけば、表示するデータの最大値、最小値を基準にしてメモリを設定しますが、中間値を基準にして設定した表示率でメモリを割り当てることが可能です。
設定値は、10%、5%、2.5%、1%のいずれかに設定できます。

4 チャート幅の変更

1. 「チャート幅変更」アイコンをクリックします。



5 ザラバチャートを閉じる

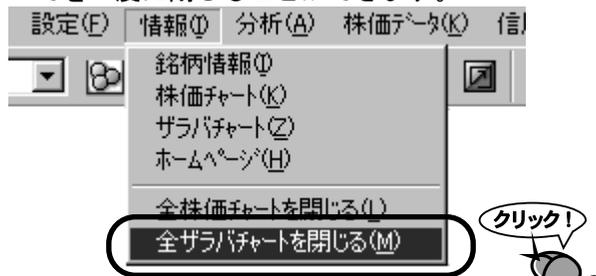
1. ウィンドウ右上隅にある「×」ボタンをクリックします。



参考

開いているザラバチャートすべてを閉じる

一つ一つのチャートを閉じるのが面倒な場合は、「全ザラバチャートを閉じる」を利用して、開いているザラバチャートすべてを一度に閉じることができます。



メイン画面の「情報」メニュー→「全ザラバチャートを閉じる」の順にクリックします。

使ってみよう-7

投資銘柄を絞り込もう

「これから値上がりしそうな銘柄を探したい」とは、誰もが考えることでしょう。しかし、未来を予測することは非常に難しく、完全な予測は不可能です。テレチャート・Wでは、テクニカルデータを基に設定した条件で銘柄を探し出したり、銘柄を特定の順番に並び替える「分析クエリー」を利用することで、銘柄の絞り込みが可能になります。



参考

分析クエリーとは

分析クエリーとは、指標の計算、検索、ランキングなど銘柄を絞り込むための全ての条件を1つにまとめた、分析条件ファイルです。分析クエリーは、ファイルとして名前をつけて保存することが可能です。したがって、計算条件や検索条件の違う複数の条件ファイルを作成することができ、それを読み込むことによって分析条件を置き換えることが可能です。また、分析クエリーに含まれる計算条件は、株価チャートの計算条件としても利用されます。

分析クエリーに含まれる設定

- ・計算条件（日足・週足・月足）
各指標のデータを作成するための計算日数を設定します。
- ・検索条件（日足・週足・月足）
各指標のデータに基づいて銘柄を絞り込むための条件を設定します。
- ・ハイ＆ロー条件（日足・週足・月足）
ハイ＆ローとは、各指標毎にハイポイントとローポイントを設定し色分け表示する機能です。この機能に用いられる各指標のハイポイント・ローポイント、表示色を設定します。
- ・ランキング条件（全足共通）
出来高の大きい順やカイリ率の低い順など、銘柄を並び替える条件を設定します。
- ・リスト項目（全足共通）
分析データ画面に表示する指標と表示される位置を設定します。

2 分析クエリーを読み込む

参考

「株価急騰銘柄検索」クエリーの読み込み

ここでは、例としてテレチャート・Wに最初から用意されている「株価急騰銘柄検索」クエリーを読み込みます。

1. 「分析」メニューの「分析クエリー読込」をクリックします。

計算期間(日数)	検索条件	ハイ&ロー条件	ランキング条件	株価
2000年10月31日				日足
1 1001	平均株価			14539
1 1002	TOPIX			1379
1 1301	極洋			138
1 1331	ニチロ			179
1 1332	日水			179
1 1333	マルハ			123
1 1351	宝幸水			63
1 1352	ハウスイ			77
1 1377	サカタのタネ			1994
1 1379	ホクチ産			3460
1 1501	三井山			83
1 1503	住友炭			65

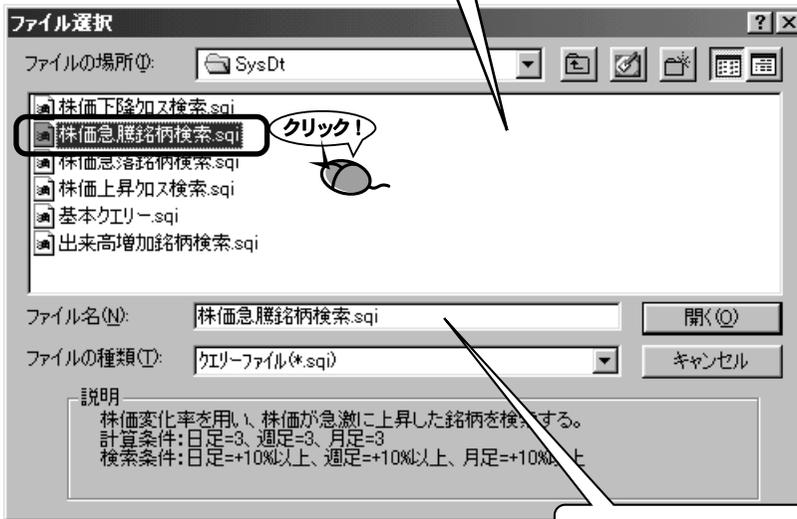
注意! メニューが選択できない!

メイン画面が分析データ画面になっていないと、メニューの文字が灰色で表示され選択できなくなります。このようなときは、メイン画面を分析データ画面に変更してください。また、株価チャートが開いていると新しい分析クエリーを読み込むことができません。「情報」メニュー→「全株価チャートを閉じる」の順にクリックし、株価チャートを閉じてください。

2.

「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
分析クエリー一覧から「株価急騰銘柄検索」をクリックします。

リストには、既に保存されている分析クエリーが全て表示されます。
この一覧の中から読み込む分析クエリーを探し、クリックします。既に
分析クエリー作成を実施した場合はそれも表示されます。



リスト内の分析クエリーをクリックすると、クリックされたフ
ァイルが表示されます。

注意! 名前の最後の“.sqi”が表示されない!

名前の最後に付いている“.sqi”は、ファイル拡張子と言います。分析クエリー
ファイルは、ファイル拡張子が“.sqi”になり、このダイアログでは、分析クエ
リーファイルのみを表示するように設定されています。Windowsの設定でファ
イル拡張子を表示しないように設定されている場合には表示されませんが、拡
張子が表示されなくても問題はありません。

3. [開く] ボタンをクリックします。



4. 実行確認メッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックします。



参考

どうしてすぐに分析クエリーを実行するの？

分析クエリーには各種指標のデータを作成するための「計算条件」が含まれます。計算条件が異なると、指標のデータも全く異なるデータが作成されます。つまり、検索やランキング等の機能の結果に狂いが生じます。

したがって、正常な分析結果を作成するため「分析クエリー」を変更した場合は、分析クエリーを実行してください。[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、分析クエリーが実行されません。この場合、分析データは古いものが残りますので、誤解を招く恐れがあります。

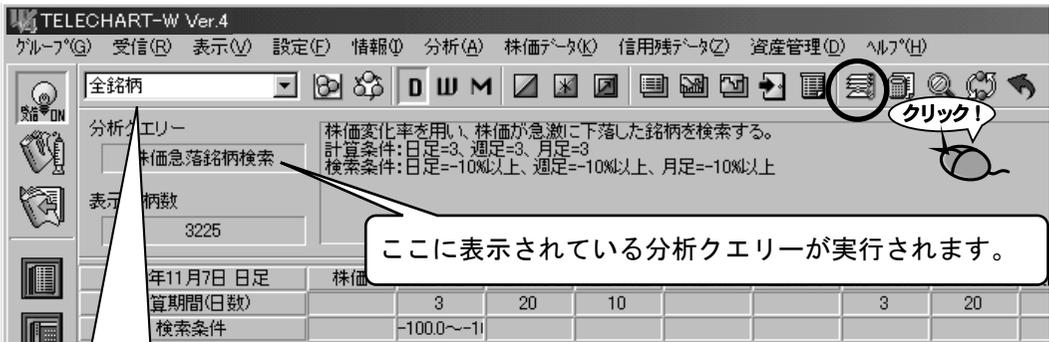
5. つづけて、分析クエリーの実行を行います。
次ページの『**3**』 分析クエリーを実行しよう』の**2.**へ進んでください。

3 分析クエリーを実行しよう

分析クエリーに設定されている「計算条件」を用いて、各種指標のデータを作成し、検索・ハイ&ロー・ランキングの結果を画面に表示します。

実行される分析クエリーは、実行時に読み込まれている分析クエリーです。実行する分析クエリーを変更するには、『2 分析クエリーを読み込む』を参照してください。

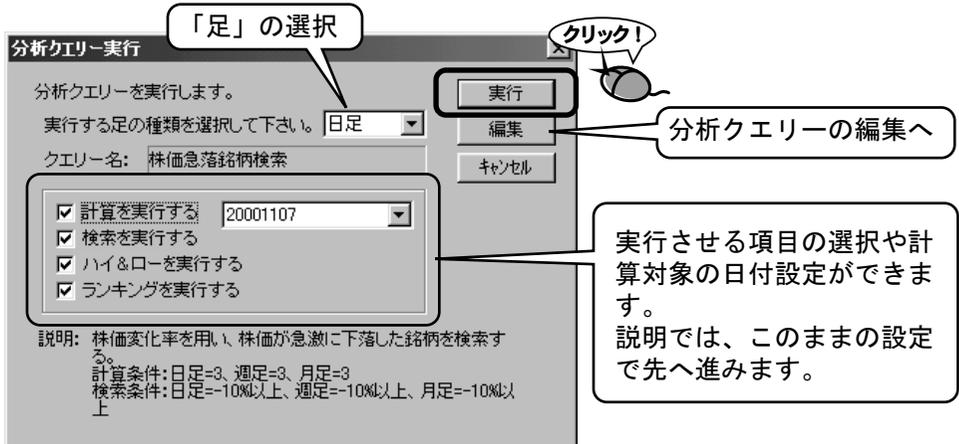
1. 「分析クエリー実行」アイコンをクリックします。



注意! 「全銘柄」が表示されていますか?

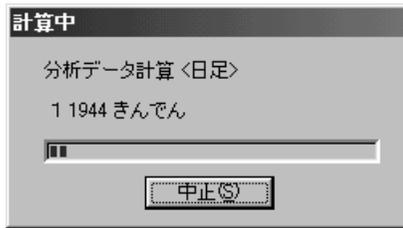
検索やランキングは、現在画面に表示されている「銘柄グループ」に登録されている銘柄を対象とします。つまり、すべての銘柄のみを対象とする場合は「全銘柄」銘柄グループを、東証1部の銘柄を対象とする場合は、「東証1部」を選択しておきます。

2. 「分析クエリー実行」ダイアログが表示されます。
[実行] ボタンをクリックします。



3.

「計算中」ダイアログが表示され分析データの計算が実行されます。



4.

分析データ画面に実行結果が表示されます。

TELECHART-W Ver.4
 分析クエリー
 株価急騰銘柄検索
 表示銘柄数 18
 株価変化率を用い、株価が急激に上昇した銘柄を検索する。
 計算条件: 日足=3, 週足=3, 月足=3
 検索条件: 日足>=+10%以上, 週足>=+10%以上, 月足>=+10%以上

2000年11月7日 日足	株価	株価変化率	3日高	20日高	10日高	株価加減	出来高	5日高	3日高	20日高	5日高	10日高
1 1603 アラビ	768	33.6	89.7	66.4	..	40750	622	573				-43.4
1 2604 吉原油	275	10.1	8.7	11.4	..	1200	276.9	9.6				81.8
1 3115 テザック	53	16.9	11.3	13.5	..	109.00	170.3	38.9				31.6
1 4078 堺化学	670	12.2	6.1	11.4	..	1300	2600	179.6				97.0
1 4088 エアウータ	377	10.2	10.3	10.5	..	334.00	481.7	261.3				181.1
1 4680*ラウンドワン	1800	23.0	32.6	34.0	..	3254.00	344.1	269.7				133.3
1 4768 大塚商	3280	16.2	-13.1	13.7	..	138.80	198.6	45.4				64.9
1 4774 NECソフト	16000	11.2	6.4	12.3	..	77.90	89.0	58.2				-7.4
1 5007 コスモ石	298	10.5	13.3	11.4	..	3194.00	438.1	414.0				176.1
1 5344 MARUWA	3650	13.5	9.2	12.8	..	17.50	130.6	35.0				11.2
1 5457 住友管	408	12.9	18.0	11.5	..	375.00	945.4	400.3				210.4
1 5721 志村化	613	33.6	22.3	32.5	..	1602.00	394.9	130.1				122.5
1 5809 タツタ	198	14.7	17.2	14.6	..	626.00	968.0	524.8				265.2
1 5958 三洋工	309	22.0	9.3	21.3	..	523.00	298.3	-12.5				80.6
1 6141 森精機	1212	13.1	-0.0	12.0	..	33.00	282.9	178.5				98.8
1 6301 コマツ	650	11.1	6.5	8.8	..	8106.00	164.7	201.5				60.5
1 6366 千代化	77	31.2	7.5	29.8	..	4333.00	162.7	223.1				51.9
1 6704 岩崎通	243	14.4	10.4	13.7	..	396.00	56.0	254.3				170.4

データ受信待ち

受信チェック中

受信状況
 ・登録 3770
 ・進行 0
 ・受信 3764
 ・未受 6
 ・アラーム 0

計算、検索、ハイ&ロー、ランキングの実行結果です

参考

複数の分析クエリーに当てはまる銘柄を抽出するには

分析クエリーの実行で検索が実行されると、抽出された銘柄のみが表示されます。この状態で他の分析クエリーを読み込み・実行すると複数の分析クエリーに当てはまる銘柄のみを抽出することができます。

4 分析クエリーを作ってみよう

「日足RCI底値検索」クエリー作成

ここでは、例として「日足RCI底値検索」という名前の分析クエリーを作ります。
この分析クエリーは以下の設定とし、記載されていない設定は初期値を使用します。

- ・対象足 日足
- ・計算条件 RCI長期=22日、RCI短期=10日
- ・検索条件 株価1000円以下 RCI長期=-80%以下 RCI短期=-80%以下
RCIクロス 上昇クロス
- ・ハイ&ロー RCI長期 ハイポイント=80%以上 ローポイント=-90%以下
- ・ランキング 株価 昇順
- ・リスト項目 株価、出来高、RCI長期、RCI短期、RCIクロス
- ・コメント ” マニュアルの例です。 ”

1. 「分析」メニューの「分析クエリー新規作成」をクリックします。

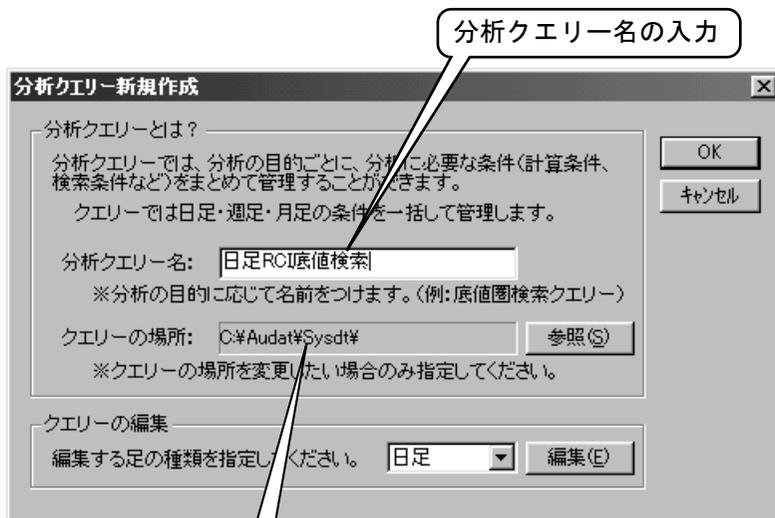
銘柄	平均株価	出来高	出来高変化率
1 1001 平均株価	15340	539.26	91.7
1 1002 TOPIX	1452	539.26	91.7
1 1301 種洋	145	172.00	117.3
1 1331 二子口	198	2783.00	229.9
1 1332 二子口	198	595.00	123.6
1 1333 二子口	198	1038.00	243.3
1 1334 二子口	198	46.00	81.7
1 1335 二子口	198	6.00	72.0
1 1336 二子口	198	19.50	49.9
1 1337 二子口	198	20.50	73.4
1 1338 二子口	198	118.00	58.0
1 1339 二子口	198	140.00	84.0

注意! メニューが選択できない!

メイン画面が分析データ画面になっていないと、メニューの文字が灰色で表示され選択できなくなります。このようなときは、メイン画面を分析データ画面に変更してください。

2.

「分析クエリー新規作成」ダイアログが表示されます。
分析クエリー名に「日足RCI底値検索」と入力します。

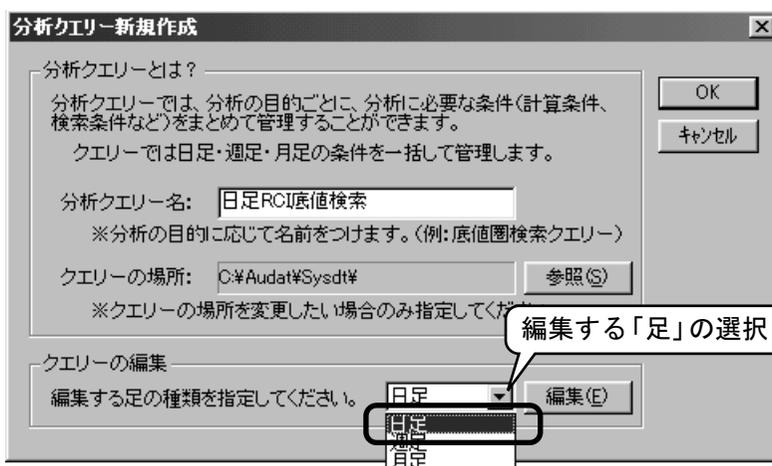


注意! フォルダの指定

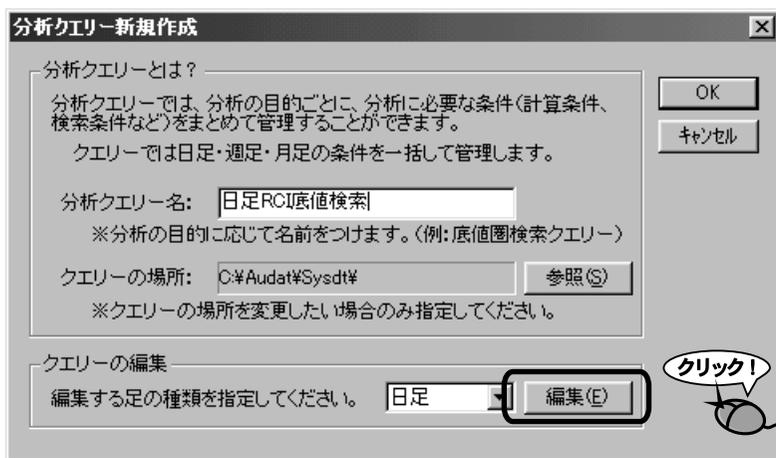
[参照] ボタンをクリックすると、分析クエリーの記録先を変更することができますが、特に必要がない場合は変更しないでください。

3.

編集する「足」の種類は、[▼] ボタンをクリックして「日足」を選択します。



4. [編集] ボタンをクリックします。



5. 「分析クエリー編集」ダイアログが表示されます。



6.

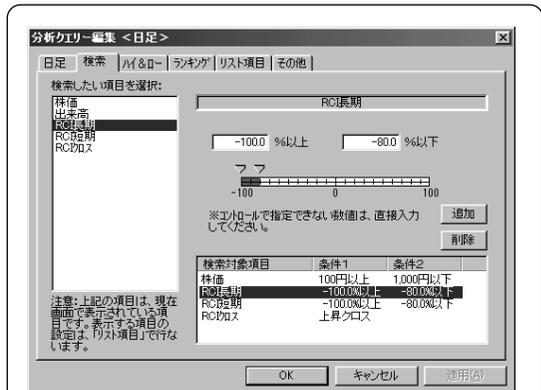
「計算条件」「検索条件」「ハイ＆ロー」「ランキング」「リスト項目」「コメント」の編集を行います。

● 計算条件の変更



「株価移動平均」「ボリュームレシオ」など、各指標の計算日数を変更します。

● 検索条件の変更



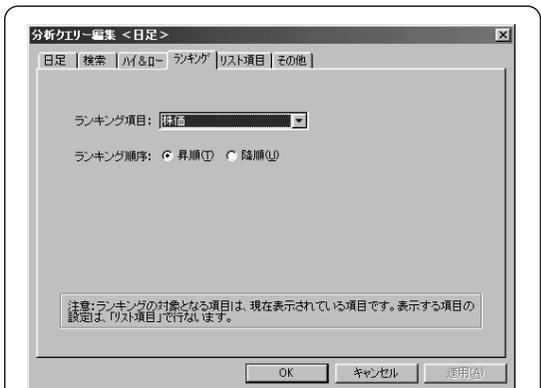
検索条件を追加。変更。削除します。

● ハイ＆ローの表示条件変更



ハイ値やロー値、およびそれぞれの表示色を変更します。

● ランキングのソート項目変更



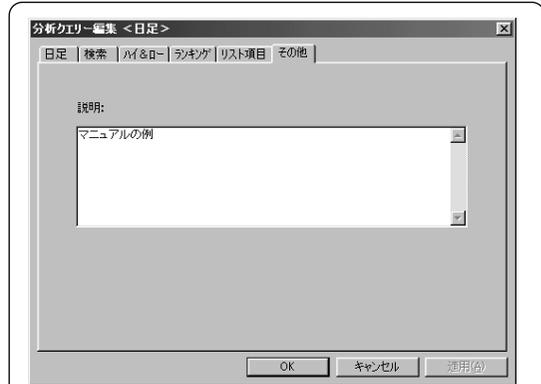
ソートを実行する項目、および並び順を変更します。

● 表示する指標を変更



分析データ画面に表示する指標項目を追加・削除します。また、表示順も変更することができます。

● コメントの編集



分析クエリについてのコメント文を編集します。

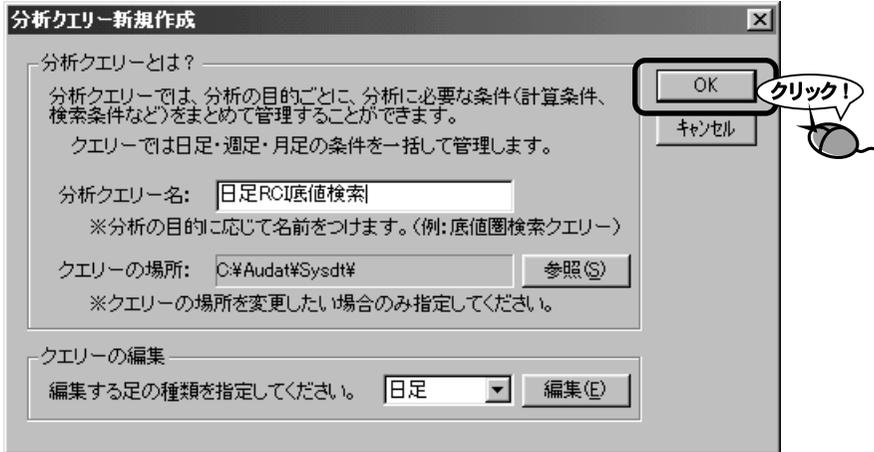
7.

各条件項目の設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックして編集を終了します。



8.

操作が「分析クエリー新規作成」ダイアログに戻りますので、[OK] ボタンをクリックして分析クエリーの作成を終了します。



9.

「このクエリーを現在のクエリーに設定しますか？」のメッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックしてください。

10.

「分析クエリー実行」ダイアログが表示されますので、続けて実行させる場合は[実行] ボタン、させない場合は[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

分析クエリーの実行は、『**3** 分析クエリーを実行しよう』を参照してください。

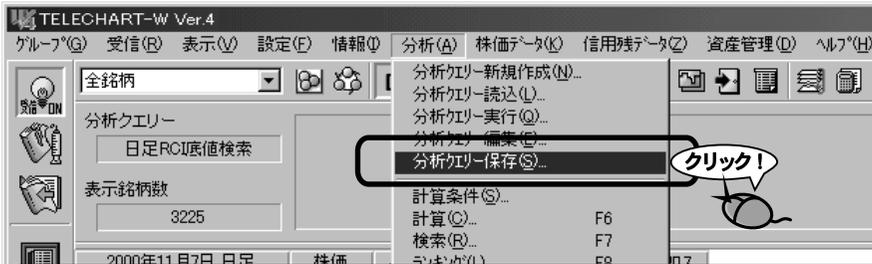
注意! 作成した分析クエリーの保存は! ?

「分析クエリー新規作成」ダイアログの[OK] ボタンをクリックすると、自動的にファイルに保存されます。設定した分析クエリー名がファイル名となります。尚、この後に設定内容を変更した場合は、「分析クエリー保存」の操作を実行してください。

5 分析クエリーを保存する

分析クエリーに編集を加えた場合は、分析クエリー保存を実行し、ファイルに記録してください。

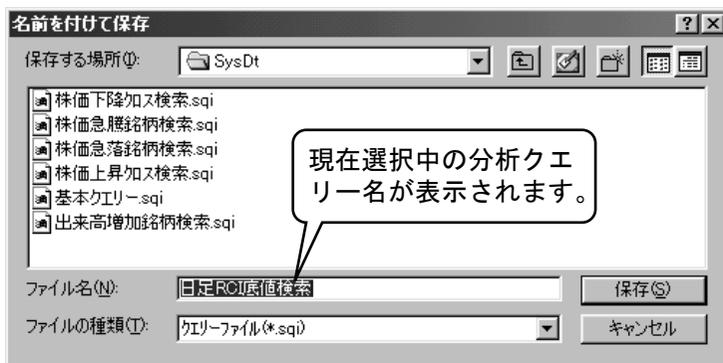
1. 「分析」メニューの「分析クエリー保存」をクリックします。



注意! メニューが選択できない!

メイン画面が分析データ画面になっていないと、メニューの文字が灰色で表示され選択できなくなります。このようなときは、メイン画面を分析データ画面に変更してください。また、株価チャートが開いていると新しい分析クエリーを読み込むことができません。「情報」メニュー→「全株価チャートを閉じる」の順にクリックし、株価チャートを閉じてください。

2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
分析クエリー名を変更する場合は、新しい名前を入力します。



3. [保存] ボタンをクリックし終了します。

6 分析クエリーの設定を変更しよう

分析クエリーに設定する計算条件や検索条件などの各種条件を変更します。設定の変更は、「分析クエリー編集」ダイアログで実施します。ここでは、分析クエリー編集の大きな手順を説明します。個々の条件の操作方法については、後に続く説明を参照してください。

1. 「分析」メニューの「分析クエリー編集」をクリックします。



注意! メニューが選択できない!

メイン画面が分析データ画面になっていないと、メニューの文字が灰色で表示され選択できなくなります。このようなときは、メイン画面を分析データ画面に変更してください。

参考

表示される「足」

分析クエリーで設定する「計算条件」、「検索条件」などの各種設定は、それぞれの足毎に設定しなければなりません。

分析クエリー編集では、メイン画面で選択されているデータの足が編集対象として表示されます。他の足を編集する場合は、一度「分析クエリー編集」を終了し、メイン画面の「日足」、「週足」、「月足」アイコンをクリックし、編集する足を選択してください。

2.

「分析クエリー編集」ダイアログが表示されます。



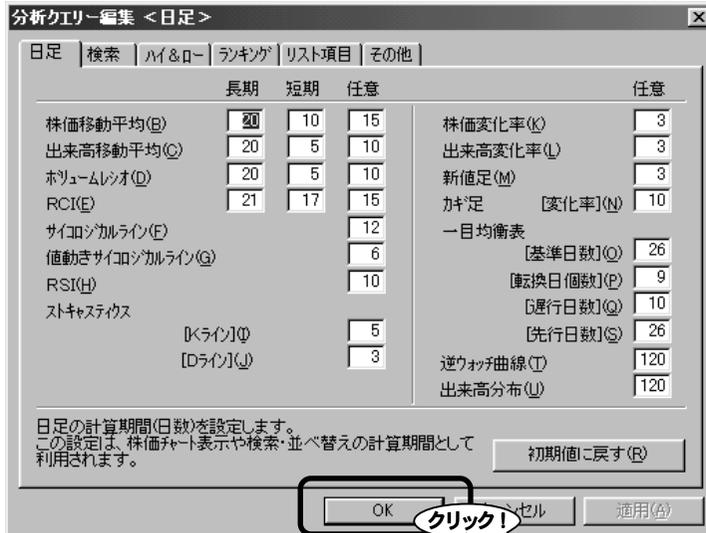
3.

「計算条件」「検索条件」「ハイ & ロー」「ランキング」「リスト項目」「コメント」の編集を行います。

- 計算条件の変更・・・[日足 (週足、月足)] タブ
「株価移動平均」「ボリュームレシオ」など、各指標の計算日数を変更します。
- 検索条件の変更・・・[検索] タブ
検索条件を追加。変更。削除します。
- ハイ & ローの表示条件変更・・・[ハイ & ロー] タブ
ハイ値やロー値、およびそれぞれの表示色を変更します。
- ランキングのソート項目変更・・・[ランキング] タブ
ソートを実行する項目、および並び順を変更します。
- 表示する指標を変更・・・[リスト項目] タブ
分析データ画面に表示する指標項目を追加・削除します。また、表示順も変更することができます。
- コメントの編集・・・[その他] タブ
分析クエリーについてのコメント文を編集します。

4.

各条件項目の設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックして「分析クエリー編集」ダイアログを閉じます。



5.

計算条件、検索条件、ハイ & ロー、ランキングの設定が変更されると、クエリー実行メッセージが表示されます。
[OK] ボタンをクリックして終了します。



6.

つづけて、分析クエリーの実行を行います。
『**3**』分析クエリーを実行しよう』の**2.**へ進んでください。

参考

どうしてもすぐに分析クエリーを実行するの？

分析クエリーには各種指標のデータを作成するための「計算条件」が含まれます。計算条件が異なると、指標のデータも全く異なるデータが作成されます。つまり、検索やランキング等の機能の結果に狂いが生じます。したがって、正常な分析結果を作成するため「分析クエリー」を変更した場合は、分析クエリーを実行してください。[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、分析クエリーが実行されません。この場合、分析データは古いものが残りますので、誤解を招く恐れがあります。

7 計算条件の変更

RCI長期の計算日数を変更する

ここでは、例として「RCI長期」の計算日数を22日に変更します。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は、『6 分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

1.

「日足」タブをクリックします。

※週足を編集している場合は「週足」、月足の場合は「月足」になります。



参考

【初期値に戻す】ボタン

全ての項目の値をリセットします。設定される値は、テレチャート・Wで決められた一般的な値です。

2.

現在表示されている値を「BackSpace」キーや [Delete] キーなどを使って削除します。

	長期	短期	任意
株価移動平均(B)	20	10	15
出来高移動平均(C)	20	5	10
ボリュームレシオ(D)	20	5	10
RCI(E)		17	15
サイコジカルライン(F)			12

注意! 数字がうまく入力できない!

計算条件の入力は、全て半角の数字で入力する必要があります。入力モードが全角の日本語入力になっていませんか？ もう一度ご確認ください。

3.

設定する値 (22日) を入力します。

	長期	短期	任意
株価移動平均(B)	20	10	15
出来高移動平均(C)	20	5	10
ボリュームレシオ(D)	20	5	10
RCI(E)	22	17	15
サイコジカルライン(F)			12

4.

他の項目を編集する場合はそれぞれのタブを、編集を終了する場合は [OK] ボタンをクリックします。

8

検索条件の変更

RCI長期の-80%以下を検索

ここでは、例として「RCI長期」の-80%以下の銘柄のみ検索できるようにします。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は『**6** 分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

1.

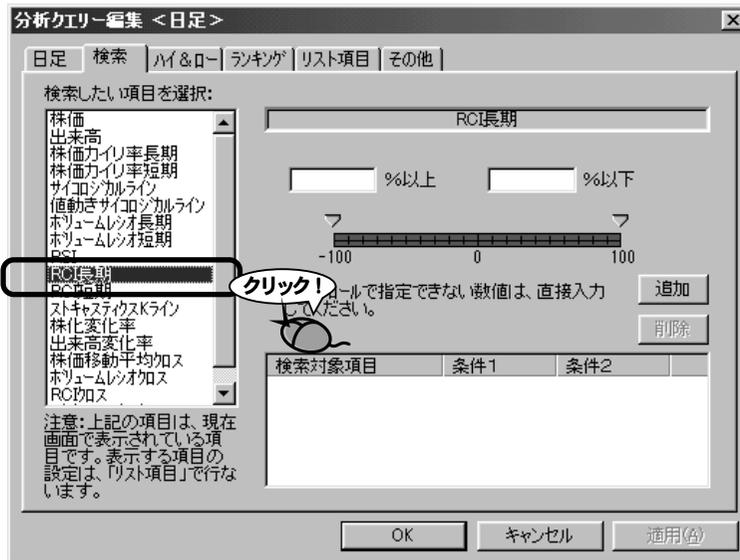
「検索」タブをクリックします。



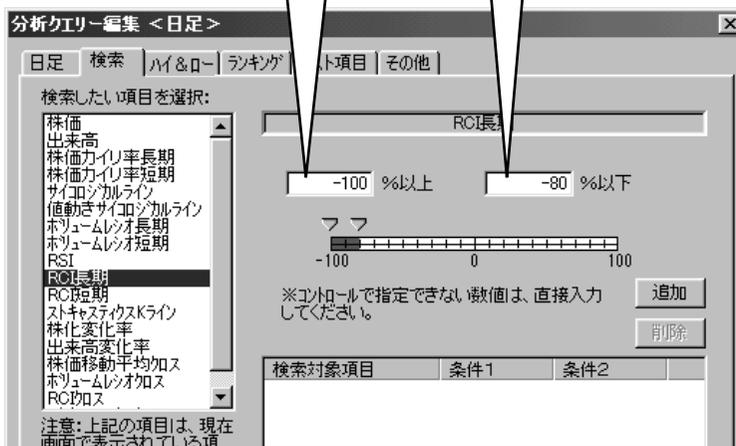
現在設定されている検索条件が表示されます。

現在リスト項目に設定されている指標のみ表示されます。
リストに表示されていない指標の検索条件は設定できません。指標の追加は、「リスト項目」タブで実行してください。

2. リストから「RCI長期」を選択します。



3. 「以上」と「以下」の数値を入力します。

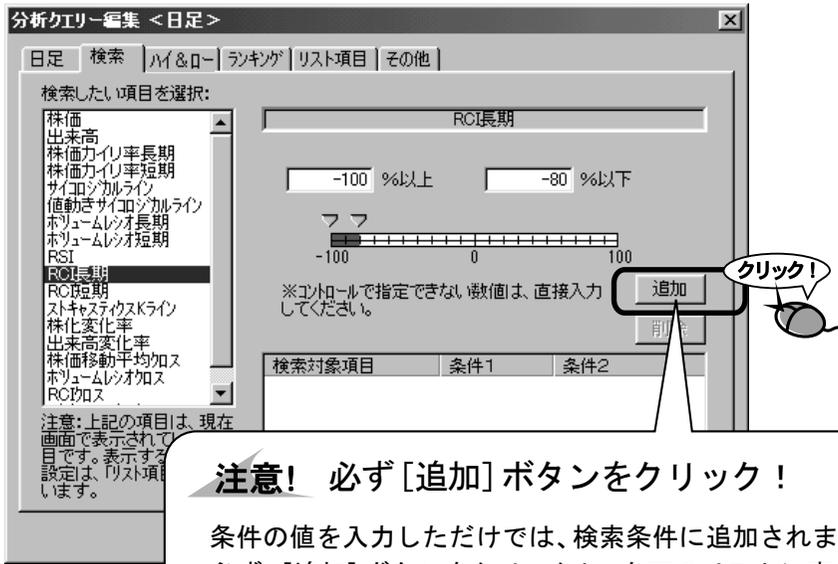


参考

設定値が片方しかない場合

条件値には、必ず上限と下限がなければなりません。よって、株価が1000円以上の銘柄を検索する場合など、条件が片方しかない場合は通常あり得ないと考えられる数値（例えば“99999999”）を入力することで、1000円以上の銘柄を検索することができます。今回の例では、RCIは-100以下が最低値になるので-100を設定します。

4. [追加] ボタンをクリックします。



5. 右下のリストに条件が追加されます。

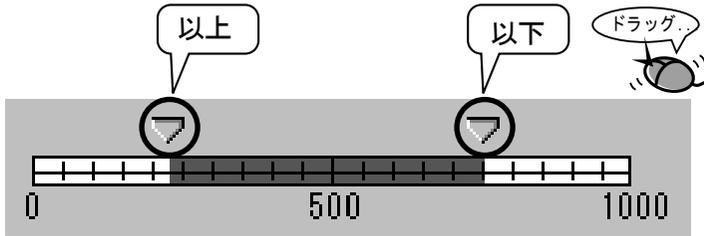


6.

他の項目を編集する場合はそれぞれのタブを、編集を終了する場合は [OK] ボタンをクリックします。

参考

スライドレンジ



スライドレンジは、検索やハイ＆ローの設定をグラフィカルに表示します。また、つまみをドラッグすることで範囲を指定することもできます。

参考

検索条件を削除するには

検索条件を削除するには・右下のリストから削除する条件をクリックし選択状態とします。・ [削除] ボタンをクリックします。

検索対象項目	条件1	条件2
RC長期	-1000%以上	-800%以下

9

ハイ＆ローの設定変更

RCI長期の設定を変更

ここでは、例として「RCI長期」の値が70%以上のものを赤色、-90%以下のものを青色で表示します。

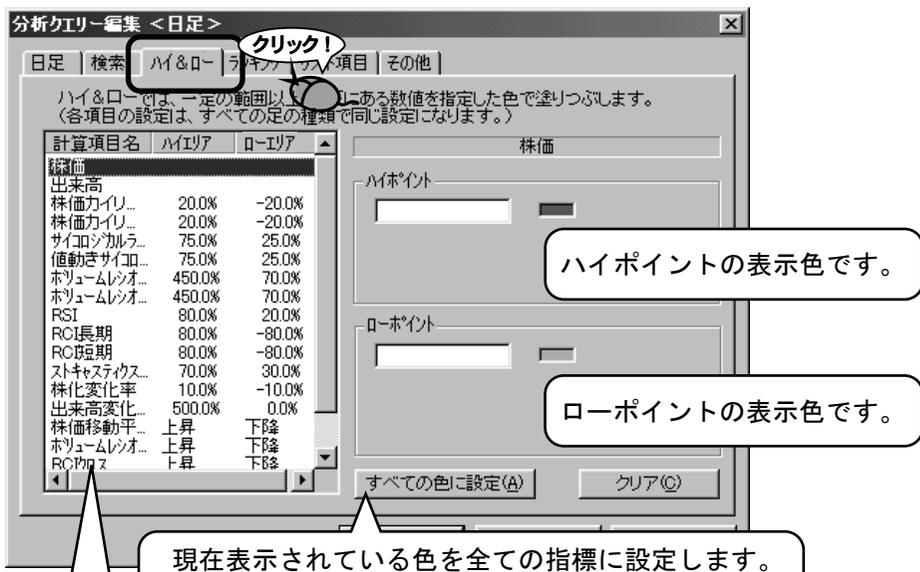
この場合、「RCI長期」のハイポイントを「70」、ローポイントを「-90」に設定します。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は、『6』分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

1.

「ハイ＆ロー」タブをクリックします。



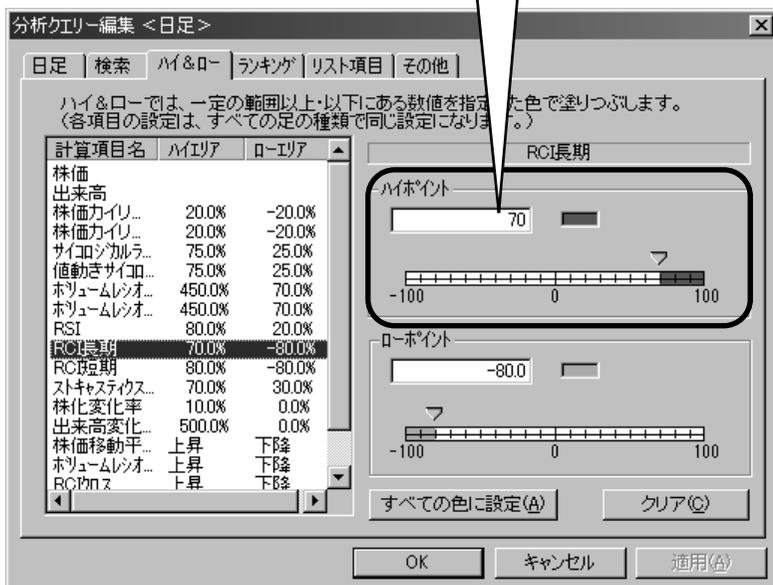
現在リスト項目に設定されている指標のみ表示されます。

リストに表示されていない指標のハイ＆ロー条件は設定できません。指標の追加は「リスト項目」タブで実施してください。

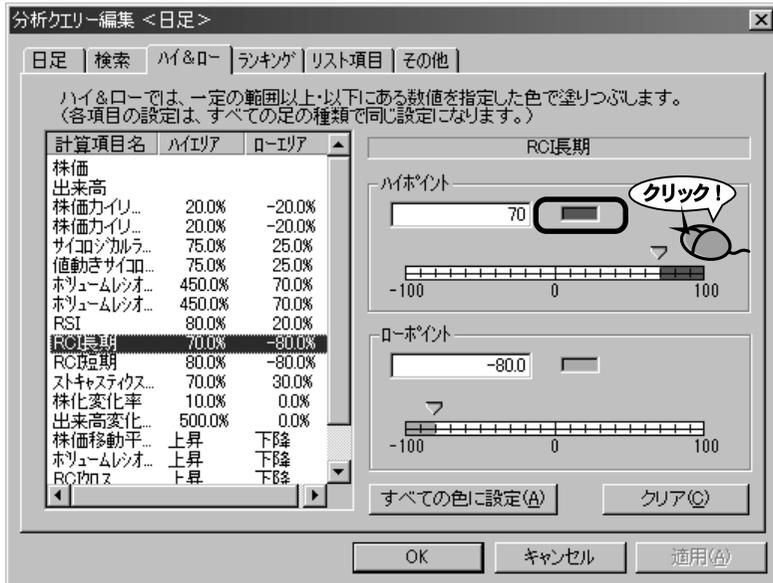
2. ハイ&ロー条件を設定する「RCI長期」を選択します。



3. ハイポイントの値を70%に変更します。



4. 色表示ボタンをクリックし、ハイポイントの色を赤色に変更します。



5. 「色」ダイアログが表示さるので、赤色をクリックします。

参考 一覧にない色を選択するには

「色」ダイアログボックスの一覧に表示されていない色を設定するには、[色の作成] ボタンをクリック後、表示されたグラデーションの中から任意の色を選択します。続いて、[色の追加] ボタンをクリックします。

6. [OK] ボタンをクリックします。

7. 選択した赤色が表示されます。



参考

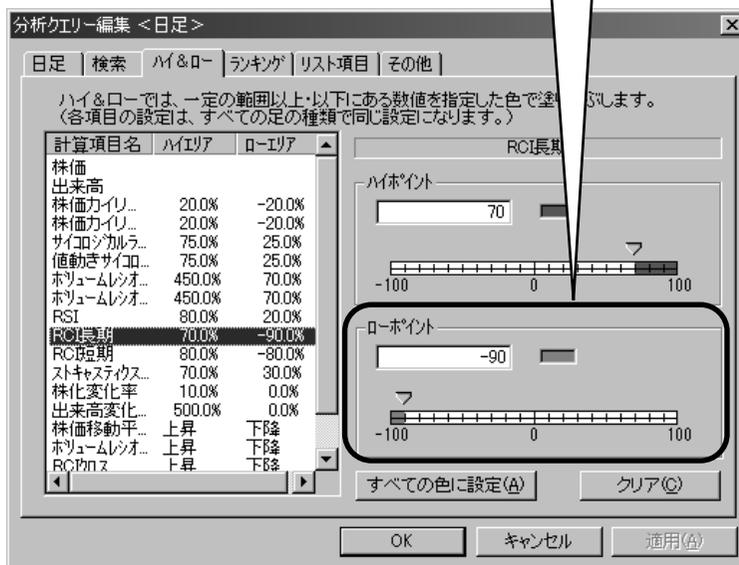
任意の指標を表示しない

特定の指標のハイ&ローを動作しないようにするには、

- ・ 目的の指標を選択し、・ [クリア] ボタンをクリックします。



8. ローポイントも同じように、-90%と青色に変更します。



9. 他の項目を編集する場合はそれぞれのタブを、編集を終了する場合は[OK]ボタンをクリックします。

10 ランキング条件の変更

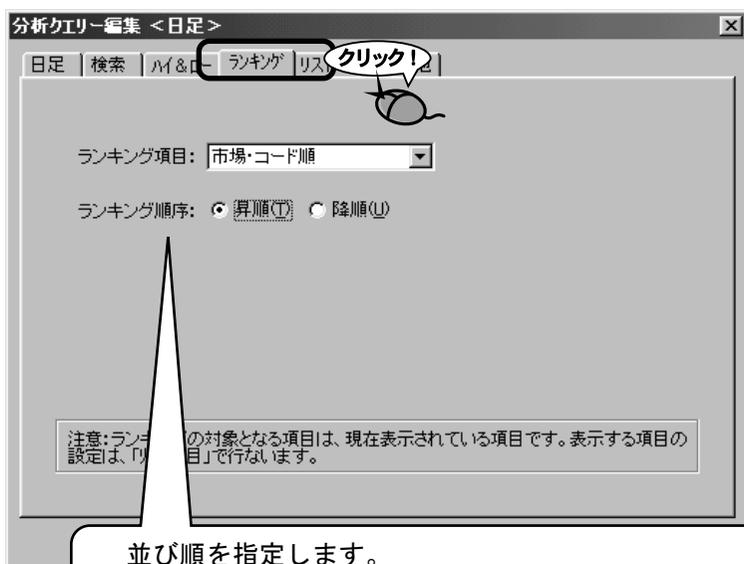
出来高の多い順に並び替える

ここでは、例として「出来高」を降順（大きい方から小さい方へ）で並び替えます。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は『**6** 分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

1. 「ランキング」タブをクリックします。

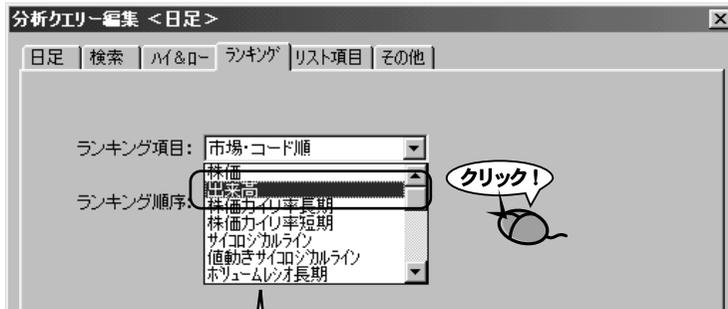


並び順を指定します。

昇順: 小さい順（小さいものが先頭、大きいものが後ろ）

降順: 大きい順（大きいものが先頭、小さいものが後ろ）

2. 「▼」をクリックし、一覧から「出来高」を選択します。



現在リスト項目に設定されている指標のみ表示されます。
リストに表示されていない指標のランキング条件は設定できません。指標の追加は「リスト項目」タブで実施してください。

3. [ランキング順序] は、降順を選択します。



4. 他の項目を編集する場合はそれぞれのタブを、編集を終了する場合は[OK]ボタンをクリックします。

11

リストに表示する指標を選択・並び替える

リスト項目の追加・移動・削除

ここでは、例として「株価カイリ率任意」を追加・移動して、「株価カイリ率短期」を削除します。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は『**6** 分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

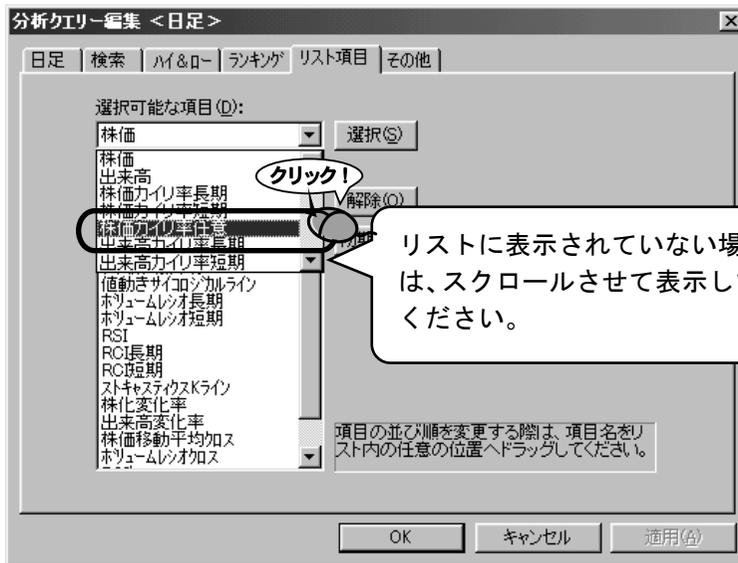
● リストに表示する指標を選択する

1. 「リスト項目」タブをクリックします。

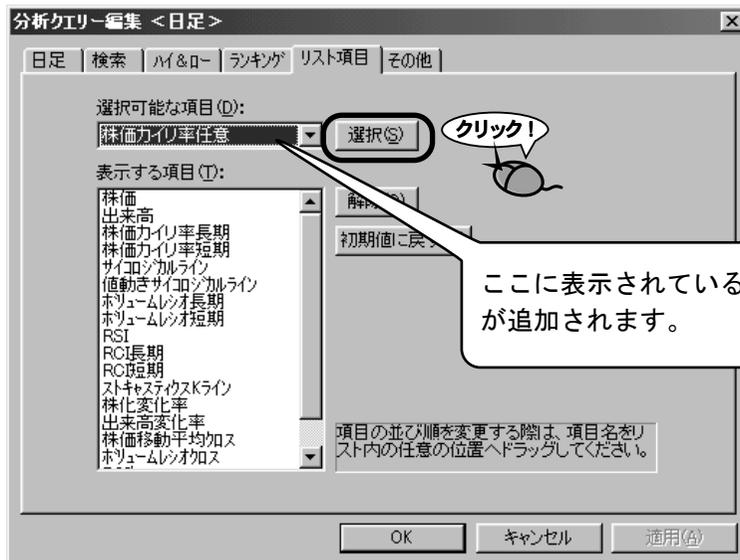


現在表示されている指標および順番を表します。

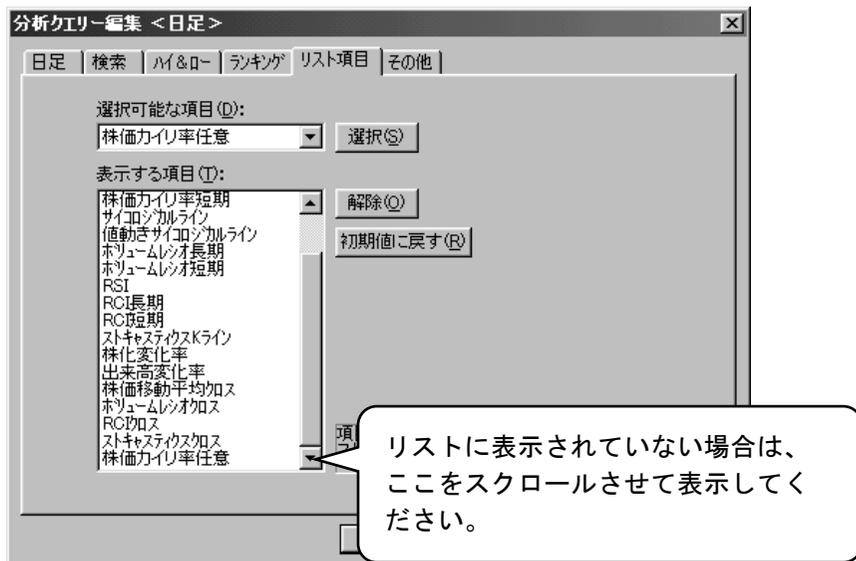
2. 「▼」をクリックし、一覧から「株価カイリ率任意」を選択します。



3. [選択] ボタンをクリックします。



4. 「表示される項目」リストの最下部に追加されます。

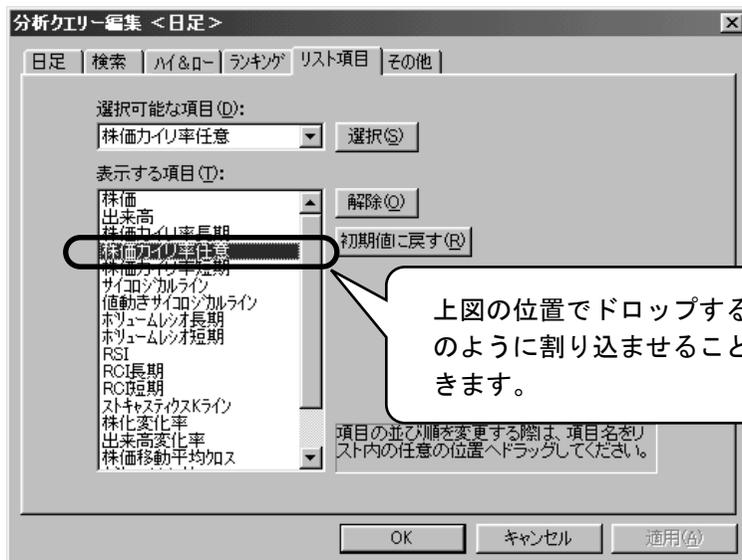
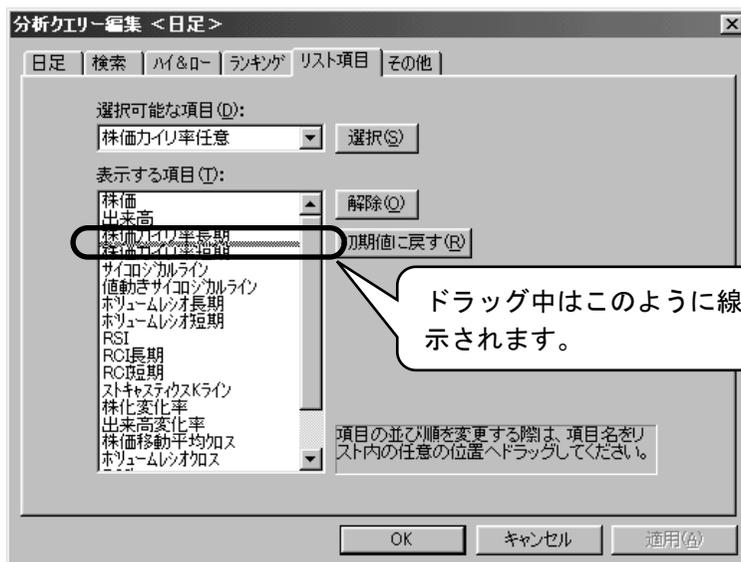


5. 次は、追加した項目を移動してリスト項目の並びを変更します。

●リストに表示する指標を並び替える

例では「株価カイリ率長期」と「株価カイリ率短期」の間に「株価カイリ率任意」を割り込ませます。

1. 順番を並び替えるために、「株価カイリ率任意」をドラッグ&ドロップで表示位置に移動させます。

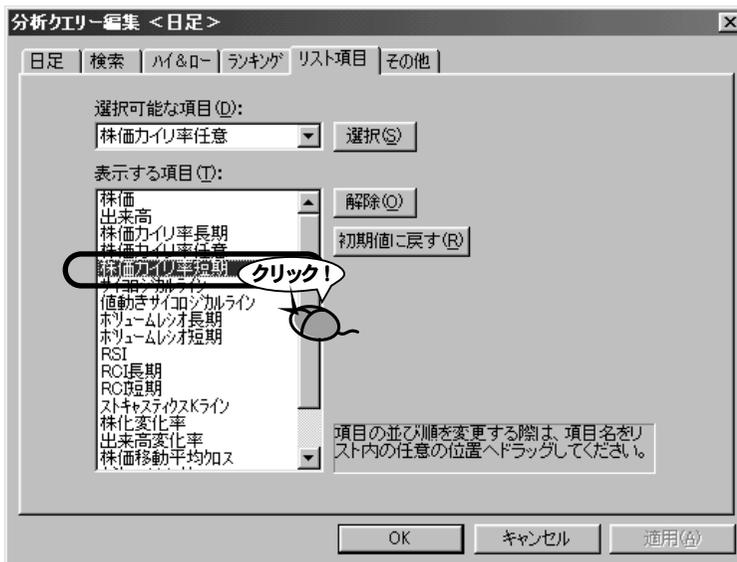


2. 次は、リスト項目を削除します。

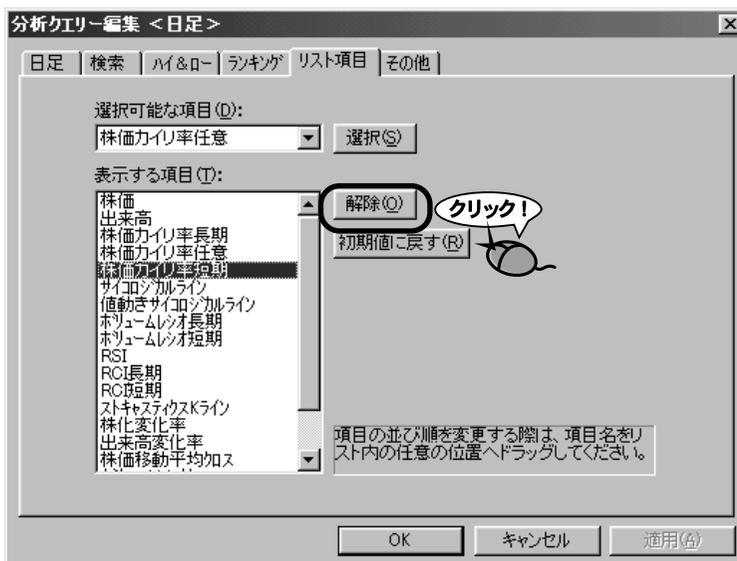
● リストに表示する指標を削除する

例では「株価カイリ率短期」を削除します。

1. 「株価カイリ率短期」を選択します。



2. [解除] ボタンをクリックします。



3. 削除が実行されます。



4. 他の項目を編集する場合は、それぞれのタブを、編集を終了する場合は [OK] ボタンをクリックします。

12 コメントを編集する

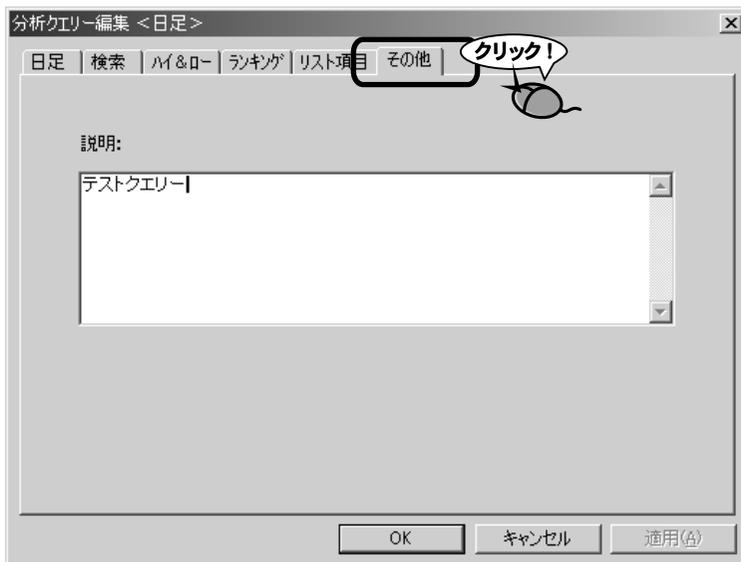
コメントの入力

ここでは、例として“テストクエリー”と設定します。

注意! 「分析クエリー編集ダイアログ」を表示するには

ここでは、すでに「分析クエリー編集」ダイアログが表示されていることを前提に説明しております。「分析クエリー編集」ダイアログの表示方法は『**6** 分析クエリーの設定を変更しよう』を参照してください。

1. 「その他」タブをクリックします。



参考

最大127文字まで

コメントに書き込むことができる文字数は、最大127文字までです。それ以上書き込んでも、自動的に削除されますのでご注意ください

2. 他の項目を編集する場合は、それぞれのタブを、編集を終了する場合は [OK] ボタンをクリックします。

使ってみよう-8 持ち株を管理しよう

投資した銘柄の記録や、最新の株価による損益を自動で算出し、損益状況を素早く判断することができます。

1 資産管理画面に切り換えよう

株式資産管理の各機能を利用する場合は、この画面に切り換えてください。

1. 「資産管理」アイコンをクリックします。

リストアップ条件

ファイル名	名和証券取引分.ddt	仕込年度	全て	決算年度	全て	注文
総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	10,382,360	1,582,059	,099,399	10.61%	463,706	120,300
保有合計	6,795,598	6,848,252	52,654	0.77%	-235,356	0
合計	17,157,958	8,430,311	,213,153	7.07%	228,350	59,200

参考 ショートカットキーでもキーボードの「F5」キーを押しても表示されます。

合計リスト

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込単価	税種	支払金額
1	東 1 1963 日揮	決済	1,000	1999/10/24	現物	源泉	272,40
2	東 1 1941 中電工	決済	1,000	2000/02/23	現物	源泉	,310,71
3	東 1 2579 コカウ	決済	500	2000/01/21	現物買い	申告	,963,15
4	東 1 2281 プリマ	決済	2,000	2000/01/14	現物買い	申告	349,00
5	東 1 2286 林兼産	決済	3,000	2000/05/16	現物買い	申告	,222,22
6	東 1 2811 カゴメ	決済	1,000	2000/03/10	現物買い	申告	,135,00
7	東 1 6206 豊田工	決済	1,000	2000/05/18	現物買い	申告	,613,36
8	東 1 2502 アサヒ	決済	2,000	2000/05/16	信用売り	源泉	,273,23
9	東 1 2874 ヨコレ	決済	2,000	2000/05/18	現物買い	申告	,272,45
10	東 1 6104 東芝機	決済	2,000	2000/06/20	現物買い	申告	,613,36
11	東 1 6277 ホソミ	保有	1,000	2000/07/03	現物買い	申告	,783,76
12	東 1 8050 セイコ	保有	3,000	2000/07/11	信用売り	源泉	,320,00
13	東 1 8088 岩谷産	保有	5,000	2000/07/18	信用売り	源泉	,135,00
14	東 1 6277 ホソミ	保有	1,000	2000/07/26	現物買い	申告	,779,35
15	東 2 5841 TDF	保有	3,000	2000/08/04	現物買い	源泉	,388,24
16	東 1 6361 荏原製	保有	1,000	2000/08/22	現物買い	申告	,42,27
17	東 1 6367						

総合リスト

個別リスト

選択された銘柄固有のリストで、合算や分割前の情報も「履歴」として表示されます。



参考

株式資産管理の用語

- 売買データ : 売り買いの記録を保存するためのファイルです。任意の名前を付けることによって、複数作成することができます。
- レコード : 売買データの1行分です。新しく仕込みの記帳を実行すると1レコード消費します。最大レコードは2,000レコードです。
- 仕込と決済 : 現物や信用買い（カラ買い）の買い注文が仕込、売り注文が決済となります。信用売り（カラ売り）の場合は、売り注文が仕込、買い注文が決済となります。
- 記帳 : 売買データに売りや買いの情報を入力すること。
- 手数料フォーム : 株式委託手数料を自動算出するための情報です。証券会社や取引方法毎に最大100種類まで設定できます。
- 源泉分離課税 : みなし課税として、利益の有無に関わらず決済時に決済約定金額から一定の率を納税します。
- 申告分離課税 : 年間を通した利益に対して一定の率を納税します。申告が必要です。

2 税率を設定しよう

売買時の損益額を算出するためには、各種税率を考慮しなければなりません。テレチャート・Wでは消費税、有価証券取引税、申告分離課税（所得・住民）、源泉分離課税（みなし所得税・信用取引所得税）の設定が可能です。設定された内容は、未決済（保有）の税率算出に考慮されます。

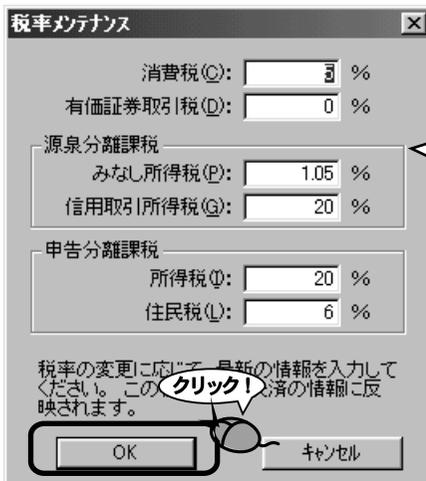
1. 「税率メンテナンス」ボタンをクリックします。



総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	10,362,360	11,582,059	,099,399	10.61%	463,706	120,300
保有合計	6,795,598	6,848,252	52,654	0.77%	-235,356	0
合計	17,157,958	18,430,311	,213,153	7.07%	228,350	59,200

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文	込単	決済日付	決済注文	決
1	東 1 1963 日揮	決済	1,000	1999/10/24	現物買い	270	1999/07/20	現物売り	
2	東 1 1941 中雷	決済	1,000	2000/02/23	現物買い	300	2000/03/22	現物売り	

2. 「税率メンテナンス」ダイアログが表示されます。



税率メンテナンス

消費税 (C): %

有価証券取引税 (D): %

源泉分離課税

みなし所得税 (P): %

信用取引所得税 (G): %

申告分離課税

所得税 (Q): %

住民税 (L): %

税率の変更に応じて最新の情報を入力してください。この **クリック!** 済の情報に反映されます。

各項目には予め初期値が表示されます。
変更のあるものは変更してください。

3. 変更が終了したら [OK] ボタンをクリックします。

3 新しい手数料フォームを作成しよう

売買時の損益額を算出するためには、証券会社へ支払う株式委託手数料を考慮しなければなりません。テレチャート・Wでは、証券会社や取引方法毎に最大100種類の手数料フォームを登録することができます。

手数料の料金体系については、お取引先の証券会社へお問い合わせください。

「名和証券」という手数料フォームを作成します。

ここでは、例として「名和証券」という手数料フォームを作成します。
名和証券の手数料は以下のように設定されています。

【約定代金】		【委託手数料】
	100万円以下	約定代金の0.800%
100万円超	500万円以下	約定代金の0.650% + 1,200円
500万円超	1,000万円以下	約定代金の0.510% + 8,050円
1,000万円超		約定代金の0.320% + 25,500円

※手数料が1000円未満の場合の手数料は、1000円とする。

手数料の料金体系は、証券会社毎に異なります。お取引のある証券会社の料金体系を入力してください。

1. 「株券委託手数料メンテナンス」アイコンをクリックします。

TELECHART-W Ver.4

グループ(G) 受信(B) 表示(V) 設定(F) 情報(I) 分析(A) 株価データ(K) 信用残データ(Z) 株券管理(D) ヘルプ(H)

ファイル名 名和証券取引分.ddt 仕込年度 全て 決済年度 全て 注文 全て 状態

総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	10,362,360	11,582,059	,099,399	10.61%	463,706	120,300
保有合計	6,795,598	6,848,252	52,654	0.77%	-235,356	0
合計	17,157,958	18,430,311	,213,153	7.07%	228,350	59,200

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文	込単	決済日付	決済注文	決
1	東1 1963 日揮	決済	1,000	1999/10/24	現物買い	270	1999/07/20	現物売り	
2	東1 1941 中電T	決済	1,000	2000/07/23	現物買い	300	2000/03/27	現物売り	

2.

「株券委託手数料メンテナンス」ダイアログが表示されます。
[新規フォームの追加] ボタンをクリックします。

株券委託手数料メンテナンス

証券会社名・手数料フォーム名(〇)

新規フォームの追加(〇) フォームの削除(〇)

クリック!

手数料算出表

約定代金が 円(〇) を超え、 円(〇) 以下の場合

約定代金の %(〇) + 円(〇) の手数料とする。

リスト項目の追加(〇) リスト項目の削除(〇) リスト項目の整理・確認(〇)

上限手数料(〇): 円

下限手数料(〇): 円

終了(〇)

3.

「手数料フォーム名入力」ダイアログが表示されます。
手数料フォーム名を入力します。

手数料フォーム名入力

手数料フォーム名を入力してください。

名和証券

OK キャンセル

クリック!

参考
例では「名和証券」と入力します
手数料フォームには証券会社名など、わかりやすい名前をつけると良いでしょう。

4.

[OK] ボタンをクリックします。

5. 「01:」の行をクリックします。

株券委託手数料メンテナンス

新規フォームの追加(D) フォームの削除(C)

証券会社名・手数料フォーム名(F): 名和証券

手数料算出表

約定代金が 円(E) を超え、 円(D) 以下の場合
約定代金の % (Y) + 円(W) の手数料とする。

01:
02:
03:
04:
05:
06:
07:
08:

クリック!

リスト項目の追加(P) リスト項目の削除(N) リスト項目の整理・確認(N)

上限手数料(H): 円
下限手数料(L): 円

終了(E)

6. 各証券会社で設定されている「約定代金」の金額を入力します。

株券委託手数料メンテナンス

新規フォームの追加(D) フォームの削除(C)

証券会社名・手数料フォーム名(F): 名和証券

手数料算出表

約定代金が 円(E) を超え、 円(D) 以下の場合
約定代金の % (Y) + 円(W) の手数料とする。

01:
02:
03:
04:
05:
06:
07:
08:

リスト項目の追加(P) リスト項目の削除(N)

上限手数料(H): 円
下限手数料(L): 円

終了(E)

参考 上限のない場合
「名和証券」の例では1,000万円超では上限値がありません。その場合「以下」の欄には「0」を入力します。

7.

各証券会社で設定されている約定代金の割合(%)と、それに対する金額をそれぞれ入力します。

株券委託手数料メンテナンス

新規フォームの追加(D) フォームの削除(C)

証券会社名・手数料フォーム名(E): 名和証券

手数料算出表

約定代金が 円(E) を超え、 円(D) 以下の場合

約定代金の % (Y) + 円 (U) の手数料とする。

01:	1,000,000円以下	0.800%	+	0円
02:				
03:				
04:				
05:				
06:				
07:				
08:				

リスト項目の追加(P) リスト項目の削除(N) リスト項目の整理・確認(N)

上限手数料(H): 円

下限手数料(L): 円

終了(O)

8.

「01:」の入力が終了しました。
つづいて、「02:」を入力するために、「02:」をクリックします。

株券委託手数料メンテナンス

新規フォームの追加(D) フォームの削除(C)

証券会社名・手数料フォーム名(E): 名和証券

手数料算出表

約定代金が 円(E) を超え、 円(D) 以下の場合

約定代金の % (Y) + 円 (U) の手数料とする。

01:	1,000,000円以下	0.800%	+	0円
02:				
03:				
04:				
05:				
06:				
07:				
08:				

リスト項目の追加(P) リスト項目の削除(N) リスト項目の整理・確認(N)

上限手数料(H): 円

下限手数料(L): 円

終了(O)

9. 5. から 8. までの操作を繰り返し、手数料算出表を作成します。

項目	約束手数	手数料
01:	1,000,000円以下	0.800% + 0円
02:	1,000,000円を超え 5,000,000円以下	0.650% + 1,200円
03:	5,000,000円を超え 10,000,000円以下	0.510% + 8,500円
04:	10,000,000円を超え	0.320% + 25,500円
05:		
06:		
07:		
08:		

10. 上限手数料、下限手数料を入力します。

11. 手数料フォームの入力が終了しましたら、[終了] ボタンをクリックします。

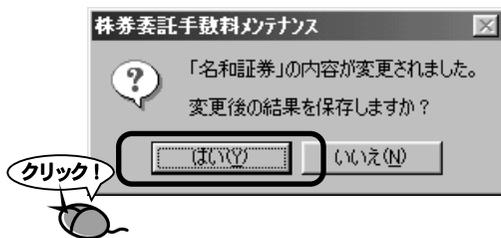
参考 算出表の矛盾チェック

[リスト項目の整理・確認] ボタンをクリックすると、手数料算出表を約定代金の小さい方から順に並び替え、金額の矛盾チェックを行います。

クリック!

12.

保存確認メッセージが表示されます。
[はい] ボタンをクリックします。



4 売買データを作成しよう

売り買いの情報を記録するファイルを「売買データ」といいます。

「売買データ」は何個でも作成できますので、例えば証券会社毎に分けるなど用途に応じてファイルを作成してください。

尚、この操作は、複数の売買データを作成する時に実行します。

売買データを今までに1つも作成していない場合は、自動的に売買データが作成されますので、以下の処理は必要ありません。

1. [売買データ新規作成] ボタンをクリックします。



2. 「ファイル名」の欄が「新しいファイル.ddt」と表示されます。



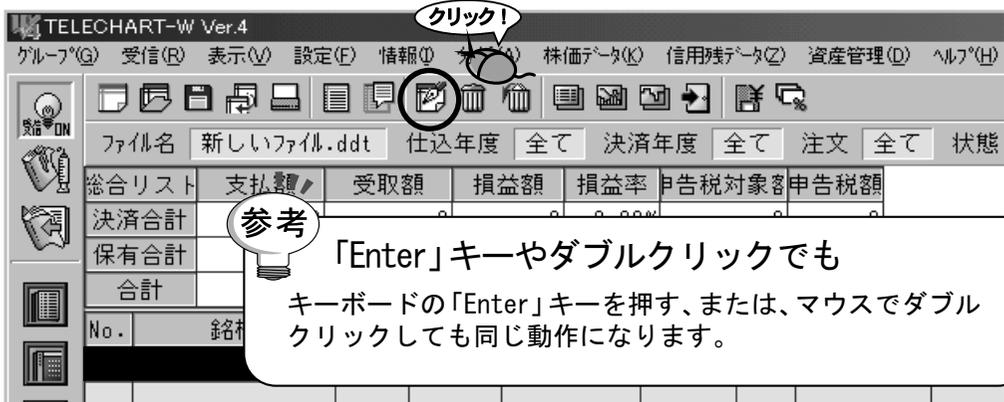
参考

保存確認メッセージ

「売買データ新規作成」や「売買データ選択」を実行したとき、メッセージが表示されることがあります。

売買データは画面上に1つしか表示できません。したがって、新しいファイルを表示する前に、すでに表示している売買データを終了する必要があります。
変更された内容を保存するには[はい]を、変更を無効にする場合は[いいえ]を選択します。

2. 「記帳」ボタンをクリックします。



3. 「記帳」ダイアログが表示されます。

4. 「現物」をチェックします。



5. 「銘柄」コンボボックスから銘柄を選択します。

銘柄の呼び出し

[コード] ボタンや[読み] ボタンをクリックすると、それぞれの方法で銘柄を呼び出すことができます。

詳しくは、『入門編 目的の銘柄を探し出そう』をご参照ください。

6. [株数]に購入した株数を入力します。株数は1株単位で入力します。

7. 「仕込」欄の「手数料フォーム」を選択します。

仕込					
手数料フォーム:	名和証券				
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:	
2000/11/08	705	705,000	5,640	282	

決済					
手数料フォーム:	名和証券				
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:	
2000/11/08	705	705,000	5,640	282	
税種	取引税:	経費:	源泉課税:		
<input type="radio"/> 源泉 <input checked="" type="radio"/> 申告	0	0	0		

損益					
支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率%:
710,822	699,078	0	0	-11,844	-1.67%

8. 「仕込」欄の「日付」「単価」を入力します。

仕込					
手数料フォーム:	名和証券				
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:	
2000/09/12	316	515,000	4,120	206	

決済					
手数料:	消費税:				
5,640	282				
経費:	源泉課税:				
0	0				

損益					
支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率%:
710,822	699,078	0	0	-11,844	-1.67%

参考

日付の入力

日付は西暦で入力します。

入力例

2000年10月5日 → 20001005

2000年9月25日 → 20000925

数値は半角で入力してください

参考

約定代金、手数料、消費税が自動計算されます

株数と単価、指定した手数料フォーム等から、約定代金、手数料、消費税が自動で計算されます。

これらの数値が証券会社から発行された伝票と違う場合は、それぞれの項目を修正してください。

9.

必要に応じて、決済の時に予定している「決済」欄の「手数料フォーム」と「税種」を設定します。

仕込						現引(仕)
手数料フォーム: 名和証券						現預(仕)
日付:	単価:	名和証券				決済(S)
2000/11/08	705	705,000	5,640	282	保有に戻す(D)	
決済						登録(O)
手数料フォーム: 名和証券						キャンセル
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:		
2000/11/08	705	705,000	5,640	282		
税種	取引税:	経費:	源泉課税:			
<input type="radio"/> 源泉 <input checked="" type="radio"/> 申告	0	0	0			

参考

なぜ決済時の手数料フォームと税種を選択するの？

登録済みの所有株に関しては、最新の株価にて売却時の受取額を自動的に算出しますので、決済時に予定している「手数料フォーム」と「税種」を選択しておきますと、より正確な受取額を計算することができます。(申告課税を選択した場合には、その取り引き単位での税額となりますので、目安としてください)

10.

[登録] ボタンをクリックします。

注文						新規(N)
<input checked="" type="radio"/> 現物(1) <input type="radio"/> 信用買い(2) <input type="radio"/> 信用売り(3)						分割(D)
銘柄・株数						合算(B)
コード(V)...	読み(*)...	銘柄:	株数:			現引(仕)
		東 1 7201 日産自	1,000			現預(仕)
仕込						決済(S)
手数料フォーム: 名和証券						保有に戻す(D)
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:		
2000/09/12	515	515,000	4,120	206		
決済						登録(O)
手数料フォーム: 名和証券						キャンセル
日付:	単価:	約定金額:	手数料:	消費税:		
2000/11/08	705	705,000	5,640	282		
税種	取引税:	経費:	源泉課税:			
<input type="radio"/> 源泉 <input checked="" type="radio"/> 申告	0	0	0			
損益						クリック!
支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率(O):	
519,326	699,078	35,800	10,700	133,252	25.66%	

11. 総合リストまたは個別リストに新たなレコードが追加されます。

The screenshot shows the TELECHART-W Ver.4 application window. The main area displays a table of stock transactions. The table has columns for No., 銘柄 (Symbol), 状態 (Status), 株数 (Quantity), 仕込日付 (Acquisition Date), 仕込注文単 (Acquisition Order Unit), 決済日付 (Settlement Date), 決済注文 (Settlement Order), 決済単価 (Settlement Unit Price), 税種 (Tax Type), and 支払金額 (Payment Amount). The first row shows a transaction for '東 1 7201 日産自' (Tohoku 1 7201 Nissan) with a quantity of 1,000, acquired on 2000/09/12, settled on 2000/11/07, with a unit price of 705 and a payment amount of 519,326. Above the table is a summary table with columns for 総合リスト (Overall List), 支払額 (Payment Amount), 受取額 (Received Amount), 損益額 (Profit/Loss Amount), 損益率 (Profit/Loss Rate), 申告税対象額 (Taxable Amount), and 申告税額 (Tax Amount). The summary table shows a total payment of 519,326, received amount of 699,078, profit/loss of 133,252, profit/loss rate of 25.66%, taxable amount of 179,752, and tax amount of 46,500. The interface also includes a menu bar, a toolbar, and a right-hand sidebar with various settings and status indicators.

総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	0	0	0	0.00%	0	0
保有合計	519,326	699,078	133,252	25.66%	179,752	46,500
合計	519,326	699,078	133,252	25.66%	179,752	46,500

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文単	決済日付	決済注文	決済単価	税種	支払金額
1	東 1 7201 日産自	保有	1,000	2000/09/12	現物買い 515	2000/11/07	現物売り	705	申告	519,326

参考

登録したのにリストに表示されない？

絞り込み条件が設定されている場合、登録しても、登録内容が絞り込み条件に合致していないと表示されません。

登録した内容を表示するには、絞り込み条件を解除してください。

『操作編 株式資産管理「リスト内容の絞り込み」』を参照してください。

6 現物株を決済しよう

「東1 7201 日産自動車」を売却しました

ここでは、例として平成12年12月1日に名和証券で「東1 7201 日産自動車」を750円で1000株売ったことにします。

1.

総合リストまたは個別リストで、決済する現物保有レコードを選択します。

The screenshot shows the TELECHART-W Ver.4 interface. At the top, there are menu options like 'ファイル(G)', '受信(R)', '表示(V)', '設定(E)', '情報(I)', '分析(A)', '株価データ(D)', '信用残データ(C)', '資産管理(O)', and 'ヘルプ(H)'. Below the menu is a toolbar with various icons. A table is displayed with columns for '総合リスト', '支払額', '受取額', '損益額', '損益率', '申告税対象額', and '申告税額'. The table shows summary data for '決済合計', '保有合計', and '合計'. Below this is a main data table with columns: No., 銘柄, 状態, 株数, 仕込日付, 仕込注文単, 決済日付, 決済注文単, 決済単価, 税種, 実払金額. The first row is highlighted and contains: 1, 東1 7201 日産自, 保有, 1,000, 2000/09/12, 現物買い, 515, 2000/11/07, 現物売り, 705, 申告, 519,326. A speech bubble with the text 'クリック!' and a mouse cursor icon points to the first row. On the right side, there are additional controls and a list of items with values: 為替(\$-¥), --日--, 気配, 寄付値, ・ドル高値, ・ドル安値, 受信状況, ・チャート 3, ・登録 3225, ・受信 3225, ・エラー 0, ・確定 3225, ・アラーム 0, ・レベル -. At the bottom, there is a status bar with 'データ受信待ち' and a progress indicator for '受信チェック中'. The system tray at the very bottom shows icons for 'タイマー', 'クエリ', 'リポート', and 'アラーム'.

総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	0	0	0	0.00%	0	0
保有合計	519,326	699,078	133,252	25.66%	179,752	46,500
合計	519,326	699,078	133,252	25.66%	179,752	46,500

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文単	決済日付	決済注文単	決済単価	税種	実払金額	
1	東1 7201 日産自	保有	1,000	2000/09/12	現物買い	515	2000/11/07	現物売り	705	申告	519,326

2. 「記帳」ボタンをクリックします。

TELECHART-W Ver.4

グループ(G) 受信(R) 表示(V) 設定(F) 情報(I) 株価データ(K) 信用残データ(Z) 資産管理(D) ヘルプ(H)

ファイル名 新しいファイル.ddt 仕込年度 全て 決済年度 全て 注文 全て 状態

総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	519,326	743,700	166,174	32.00%	224,374	58,200
保有合計	0	0	0	0.00%	0	0
合計	519,326	743,700	166,174	32.00%	224,374	58,200

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文	込単	決済日付	決済注
1	東 1 7201 日産							

「Enter」キーやダブルクリックでも
キーボードの「Enter」キーを押す、または、マウスでダブル
クリックしても同じ動作になります。

3. 「記帳」ダイアログが表示されます。

記帳

注文
 親物(K) 信用買い(Q) 信用売り(S) 新規(N)

銘柄・株数
銘柄: 東 1 7201 日産自 株数: 1,000
分割(D)
合算(F)
現別店(H)
現預し(S)
決済(S)
保有に戻す(D)

仕込
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/09/12 単価: 515 約定金額: 515,000 手数料: 4,120 消費税: 206

決済
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/11/07 単価: 705 約定金額: 705,000 手数料: 5,640 消費税: 282
税種: 源泉 申告 取引税: 0 経費: 0 源泉課税: 0

登録(O)
キャンセル

損益
支払金額: 519,326 受取金額: 699,078 申告課税: 35,800 住民税: 10,700 損益額: 193,252 損益率(%): 25.66%

4. 「決済」欄の「手数料フォーム」を設定します。

決済

手数料フォーム:

日付: 単価

2000/11/07	705	705,000	5,640	282
------------	-----	---------	-------	-----

税種

源泉 申告

取引税: 経費: 源泉課税:

0	0	0
---	---	---

登録

キャンセル

クリック!

損益

支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率(%):
519,326	699,078	35,800	10,700	133,252	25.66%

5. 「仕込」欄の「日付」「単価」を入力します。

手数料フォーム:

日付: 単価

2000/12/01	750	750,000	6,000	300
------------	-----	---------	-------	-----

税種

源泉 申告

取引税: 経費: 源泉課税:

0	0	0
---	---	---

損益

支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率(%):
-------	-------	-------	------	------	---------



参考

約定代金、手数料、消費税が自動計算されます

株数と単価、指定した手数料フォーム等から、約定代金、手数料、消費税が自動で計算されます。
これらの数値が証券会社から発行された伝票と違う場合は、それぞれの項目を修正してください。

6. 「税種」を選択します。

決済

手数料フォーム:

日付: 単価

2000/12/01	750	750,000	6,000	300
------------	-----	---------	-------	-----

税種

源泉 申告

取引税: 経費: 源泉課税:

0	0	0
---	---	---

登録

キャンセル

クリック!

損益

支払金額:	受取金額:	申告課税:	住民税:	損益額:	損益率(%):
519,326	744,000	44,800	13,400	166,174	32.00%

7. [決済] ボタンを登録します。

記帳

注文
 現物(I) 信用買い(I2) 信用売り(I3)

銘柄・株数
銘柄: 東 1 7201 日産自 株数: 1,000

仕込
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/09/12 単価: 515 約定金額: 515,000 手数料: 4,120 消費税: 206

決済
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/12/01 単価: 750 約定金額: 750,000 手数料: 6,000 消費税: 300
税種: 源泉 申告 取引税: 0 経費: 0 源泉課税: 0

損益
支払金額: 519,326 受取金額: 749,700 申告課税: 44,800 住民税: 13,400 損益額: 166,174 損益率(%): 32.00%

新規(N) 分割(D) 合算(F) 現引付(H) 現値(L) 決済(S) 保有に戻す(I1)
登録(O) キャンセル

クリック!

8. 「記帳」ダイアログ全体が入力不可の状態になります。
[登録] ボタンをクリックします。

記帳

注文
 現物(I) 信用買い(I2) 信用売り(I3)

銘柄・株数
銘柄: 東 1 7201 日産自 株数: 1,000

仕込
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/09/12 単価: 515 約定金額: 515,000 手数料: 4,120 消費税: 206

決済
手数料フォーム: 名和証券
日付: 2000/12/01 単価: 750 約定金額: 750,000 手数料: 6,000 消費税: 300
税種: 源泉 申告 取引税: 0 経費: 0 源泉課税: 0

損益
支払金額: 519,326 受取金額: 749,700 申告課税: 44,800 住民税: 13,400 損益額: 166,174 損益率(%): 32.00%

新規(N) 分割(D) 合算(F) 現引付(H) 現値(L) 決済(S) 保有に戻す(I1)
登録(O) キャンセル

クリック!

9.

総合リストまたは個別リストに表示されます。

TELECHART-W Ver.4
 ヘルプ(H) 資産管理(D) 信用残高(C) 株価データ(K) 分析(A) 情報(I) 設定(E) 表示(V) 受信(R) ヘルプ(H)

ファイル名 新しいファイル.ddt 仕込年度 全て 決済年度 全て 注文 全て 状態 全て 課税 全て

総合リスト	支払額	受取額	損益額	損益率	申告税対象額	申告税額
決済合計	519,326	743,700	166,174	32.00%	224,374	58,200
保有合計	0	0	0	0.00%	0	0
合計	519,326	743,700	166,174	32.00%	224,374	58,200

No.	銘柄	状態	株数	仕込日付	仕込注文込単	決済日付	決済注文	決済単価	税種	支払金額	
1	東 1 7201 日産自	決済	1,000	2000/09/12	現物買い	515	2000/12/01	現物売り	750	申告	519,326

受信状況
 ・予約 3
 ・登録 3225
 ・受信 3225
 ・エラー 0
 ・確定 3225
 ・アラーム 0
 ・レベル -

期待ち
 受信チェック中
 タイマー エントリー ソート アラーム

7 売買データを保存しよう

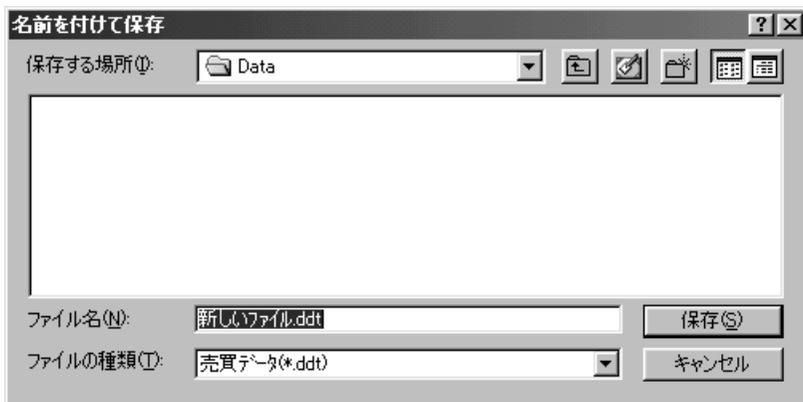
記帳を実行し、売買データに新しい情報を追加した場合は、その変更内容を保存しなければなりません。

保存しないままテレチャート・Wを終了すると、追加した情報は全て破棄されてしまいます。

1. [売買データの保存] ボタンをクリックします。



2. 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



3.

「ファイル名」欄に任意の名前を入力します。
※名前を変更する必要がない場合は、次にお進みください。



4.

[保存] ボタンをクリックします。



保証と責任の範囲

システックは本マニュアルに記載された製品に対し、明示または黙示の品質、性能、商品価値、またはどのような特定の使用目的に対する適合性についても、その保証はいたしません。システックは本ソフトウェア、マニュアルの欠陥の結果発生する直接、間接、特別、偶然、または必然的な損害について、仮に当該損害が発生すると告知されていた場合でも、一切の責任を負いません。当社はプログラムまたはデータの回復に要する費用について一切の責任を負いません。

輸出する際の注意事項

本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。

ユーザーズマニュアル

TELECHART-W Ver. 4 【入門編】

平成18年 3月 1日 初版第1刷発行

発行 株式会社システック

愛知県東海市名和町後西20-2

2006 SYSTEC. All Rights Reserved.

本書の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。本文中の製品名および社名などは、各発売元または開発メーカーの商標または登録商標です。本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を越え、無断で複写、複製、転載、テープ化、ファイルに落とすことを禁じます。